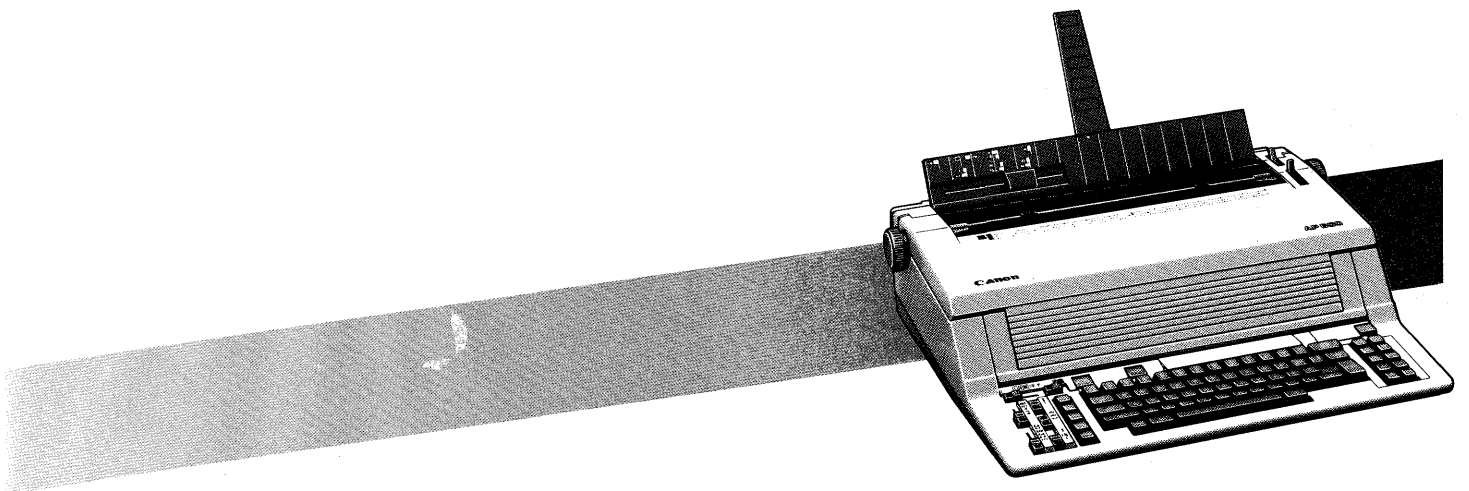


**Canon**

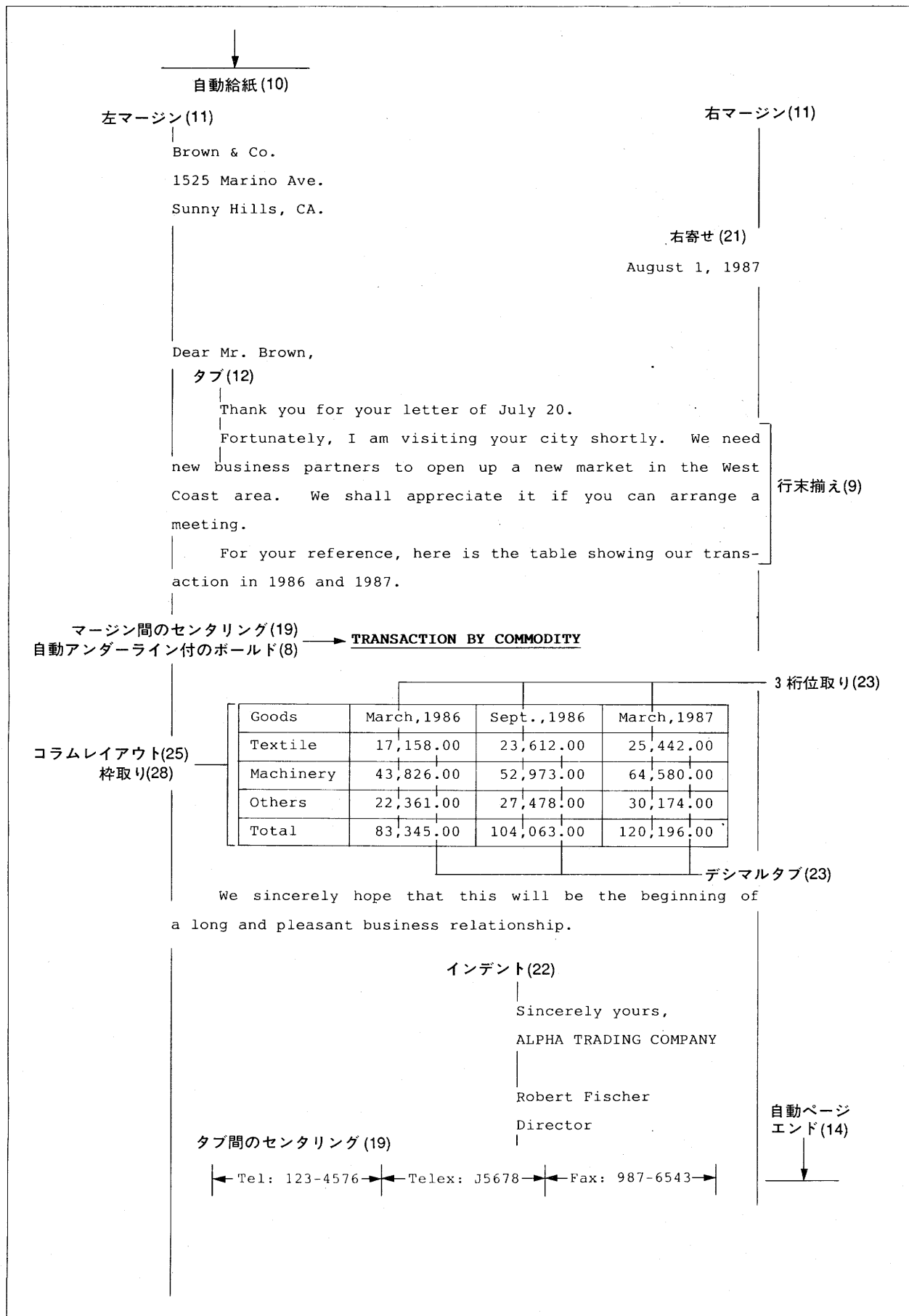
ELECTRONIC TYPEWRITERS

# AP 600/AP 610

基本機能編



# 機能一覧



## はじめに

---

このたびは、キヤノン電子タイプライタをお買い上げくださいました、誠にありがとうございます。

AP600およびAP610は、様々なアプリケーションに対応できるように設計されていますので、簡単なメモはもちろんのこと、ビジネスレターや公式文書まで、スピーディに効率よく作成・編集できます。

あらゆるタイピングニーズに応えるため、AP600およびAP610は次のような特長を備えています。

- ・シンプルなキー操作によるスピーディなタイプワーク
- ・多彩な自動機能によるタイピングの効率アップ
- ・オプションのスペル・チェッカーとスペル・コレクター（AP610のみ）による正確な文書作成
- ・オプションのディスク・ドライブユニット装着（AP610のみ）による大容量メモリ機構
- ・シリアル/パラレルインターフェイスユニットによるグレードアップ可能

この説明書をよくお読みいただき、AP600およびAP610の機能を充分にご活用ください。

なお、AP610をお使いの方は、編集機能編の説明書も合わせてお読みください。

この装置は、第一種情報装置（商工業地域において使用されるべき情報装置）で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

取扱い説明書に従って正しい取扱いをして下さい。

# 目次

---

はじめに	1
取扱上の注意	3
表記について	3
各部の名称と機能	4
キーの名称と機能	6
セレクトの名称と機能	8

## PART 1

---

### タイピングの前に

自動給紙	10
タイピング開始行 (トップマージン)	10
マージン	11
タブ	12
ホットゾーン	13
自動ページエンド警告	14
ラインフォーマット (AP600の場合)	15

## PART 2

---

### 自動機能

印字された文字の訂正	16
自動訂正	16
マニュアル訂正	17
ワードデリート	18
基本機能	19
センタリング	19
右寄せ	21
インデント	22
ブロックインデント	22
作表	23
デシマルタブ	23
コラムレイアウト	25
縦線	27
枠取り	28

## PART 3

---

### 便利な諸機能

キャスロック	31
パーマネントスペース	31
サブスクリプトとスーパースクリプト	32
重ね印字	33
ハーフバックスペース	33
エクスプレスバックスペース	33
用紙の半行送り・半行戻し	34
キャリアの微量送り	34
タイピング中のキャリア移動	35
自動排紙	35
リボンカセットの上下時間の調整	35
キーボードのマルチリンガル変換	36

## 付録

---

消耗品・部品の交換	41
リボンカセットの交換	41
コレクションテープの交換	42
デジタイザの交換	43
リチウム電池の交換	44
プラテンの着脱	45
日常の手入れとサービス	46
アラームが鳴って操作できない場合	47
製品仕様	48
商品構成	48
索引	49
クイックリファレンス	51

# 取扱上の注意

キヤノン電子タイプライタをお使いいただくにあたっては、次のことに注意してください。

- ・ほこりの多い場所や振動の大きな場所でのご使用はお避けください。



- ・高温・多湿の場所での使用はお避けください。  
使用温度範囲 10～35°C  
使用湿度範囲 20～85%



- ・直射日光の当たらない場所をお選びください。



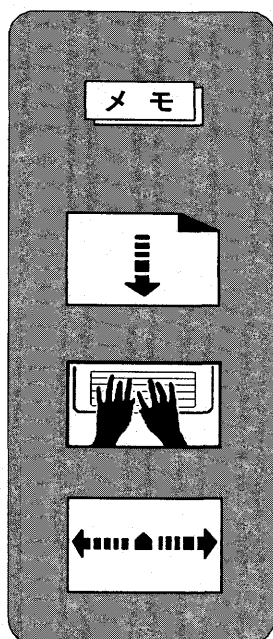
- ・機械の中に物を落とさないようにしてください。  
特に金属性の物(クリップやホッチキスの針など)は、故障の原因となることがあります。

- ・電気ノイズによる誤操作を防ぐため、他機器と同じコンセントの使用はお避けください。



# 表記について

本書では、説明をわかりやすくするために次のような記号やマークを使用しています。

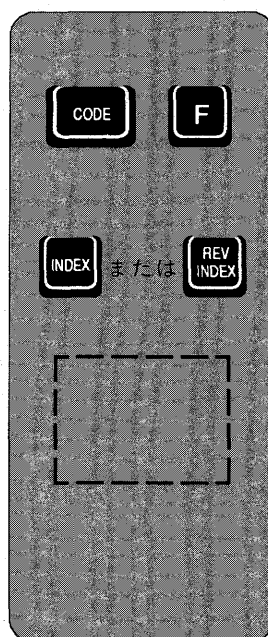


ご使用にあたって注意していただきたいこと、タイプライタのモデルによって多少操作が異なる点などを説明しています。

用紙をセットします。

タイプします。

キャリアを移動します。



左のキーを押しながら、右のキーを押します(両方のキーを同時に押します)。


2つのキーのうち、どちらか一方を押します。


必要に応じて、操作を繰り返します。

# 各部の名称と機能

## ペーパーエッジガイド

用紙の左端を合わせてセットします。使用する用紙のサイズに合わせて左右に移動してください。

 : 用紙を横にセットする場合

 : 用紙を縦にセットする場合

- ・用紙をペーパーエッジガイドマークに沿って挿入すると、センターマーク (▼) が用紙の中央を指します。

## プラテンノブ/バリアブルラインスペーサ

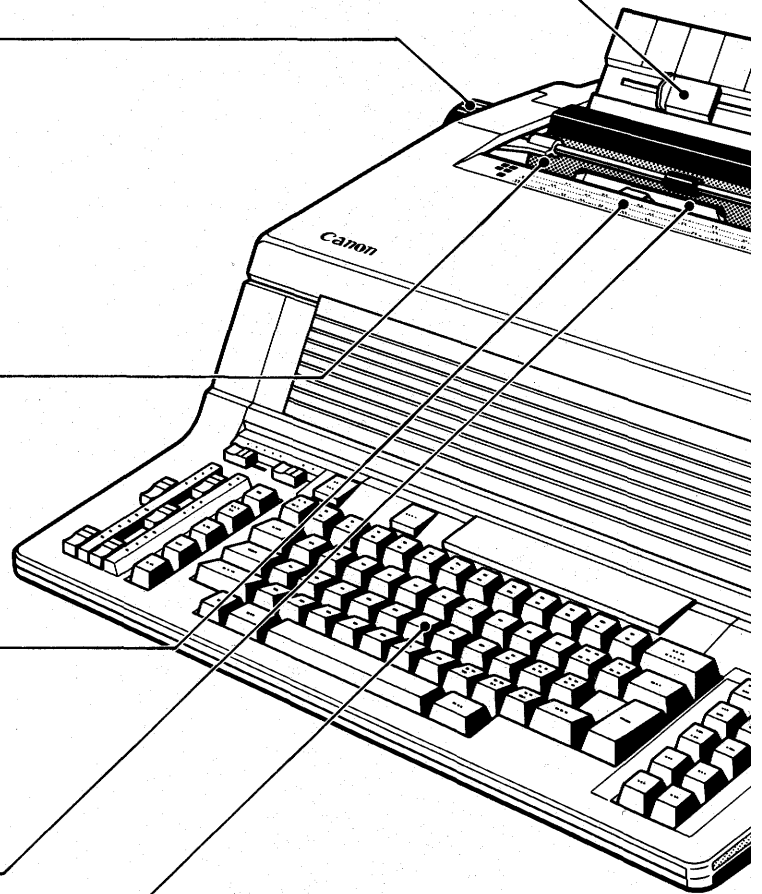
用紙を手動で送るときに使用します。  
左のノブを押しながら回すと、行間隔に関係なく用紙を送ることができます。

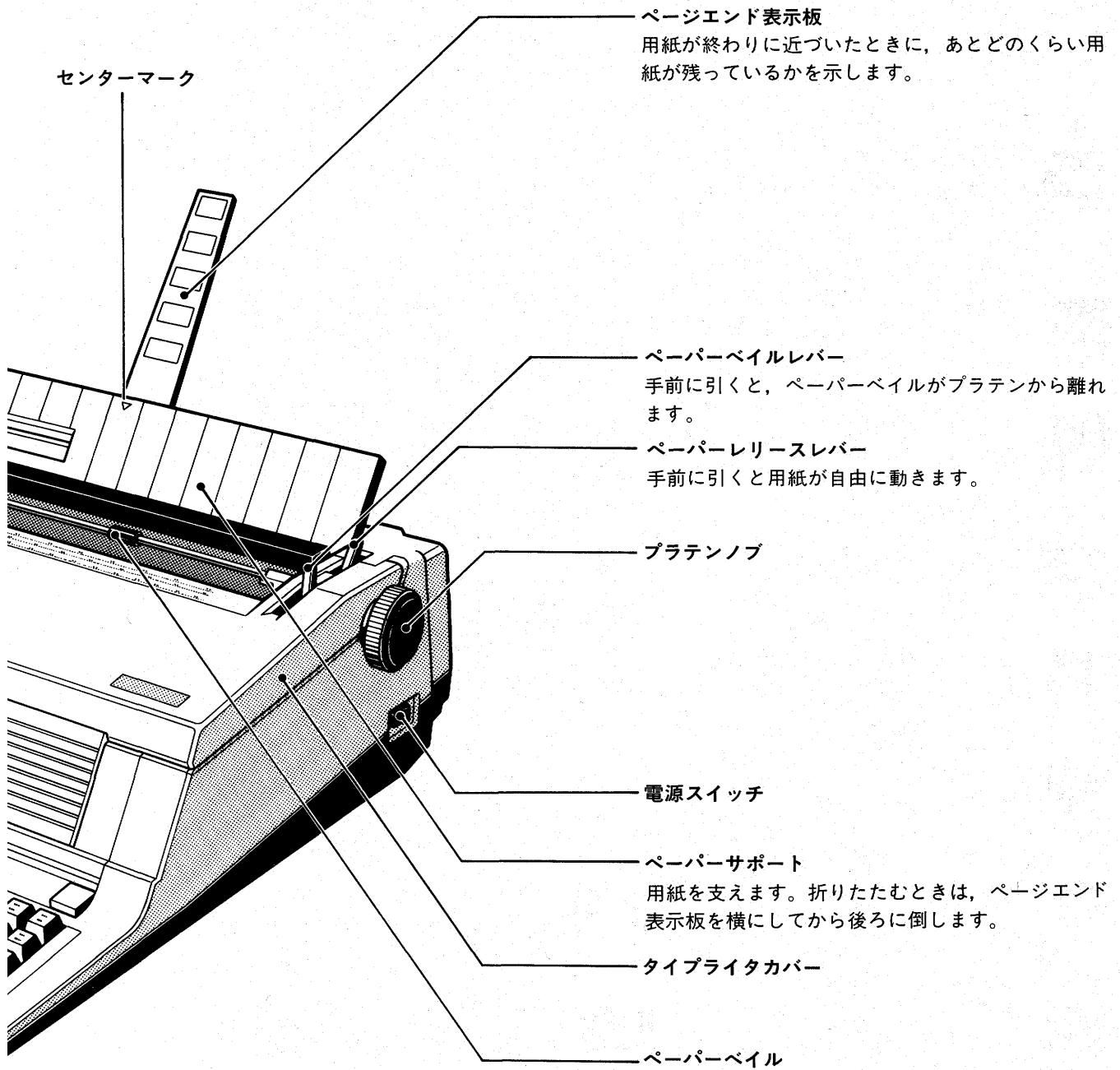
## プラテン

## ピッチスケール

## キャリア

## キーボード部





# キーの名称と機能

**MARGIN RELEASE**  
**マージンリリース**  
 ・設定しているマージンを解除します。  
 ・キーボードロックを解除します。

**FORMAT**  
**フォーマット**  
 ページフォーマットの操作に使用します。

**ペーパーフィード**  
 用紙をタイピング開始行に設定します。

**INDENT**  
**インデント**  
 インデント、ブロックインデントを設定します。

**DEC TAB**  
**デシマルタブ**  
 数字の桁合わせに使用します。

**CENTER**  
**センター**  
 語句をセンタリング、右寄せします。

**FRAME**  
**フレーム**  
 枠取りに使用します。

**LAYOUT**  
**レイアウト**  
 コラムレイアウトを設定します。

**TAB**  
**タブ**  
 キャリアを次のタブ位置に移動します。

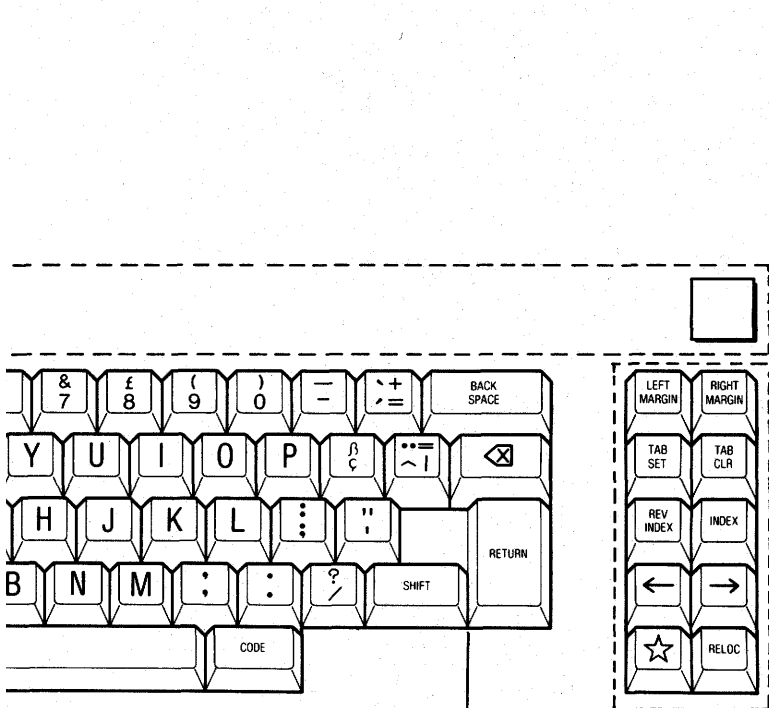
**LOCK**  
**シフトロック**  
 ・キーの上段の文字（記号など）や大文字を連続してタイプするときを使用します。  
 ・シフトキーで解除します。

**SHIFT**  
**シフト**  
 ・キーの上段の文字（記号など）や大文字をタイプするときを使用します。  
 ・シフトロックキーを解除します。

**REPEAT**  
**リピート**  
 このキーの直前に押したキーを繰り返しタイピングします。

**CODE**  
**コード**  
 各種機能の実行に使用します。





**レフトマージン**  
左マージンを設定します。



**ライトマージン**  
右マージンを設定します。



**タブセット**  
タブを設定します。



**タブクリア**  
タブやデシマルタブをクリアします。



**リバースインデックス★**  
用紙を戻します。



**インデックス★**  
用紙を送ります。



**カーソルレフト★**  
キャリアを1文字分左に移動します (AP600の場合)。  
カーソルを左に移動します (AP610の場合)。



**カーソルライト★**  
キャリアを1文字分右に移動します (AP600の場合)。  
カーソルを右に移動します (AP610の場合)。



**セット**  
各種機能をセットします。



**リロケイト**  
キャリアを訂正前の位置に戻します。



**バックスペース★**  
キャリアを1文字分左に戻します。



**キャンセル**  
タイプした文字を削除します。



**リターン★**  
タイピング中に改行し、キャリアを左マージンに戻します。

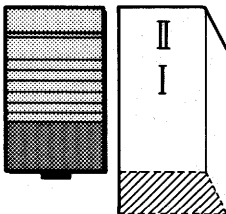
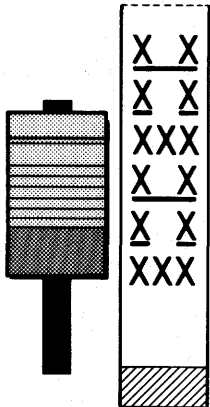
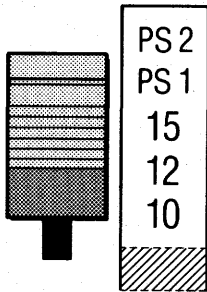
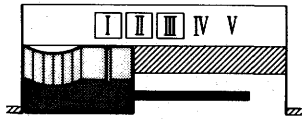


**スペース★**  
スペースを入れるときや、キャリアを移動するときに使用します。

**★自動リピートキー**  
押し続けると連続作動します。

# セレクトタの名称と機能

電子タイプライタの基本機能をセレクトタで設定します。



## ・印字圧セレクトタ

お使いの用紙やリボンの種類によって、印字圧を調節します。AP-RB11のリボンを使って印字する場合は、セレクトタをIからVの任意の位置に設定します。他のリボン (AP 11, 12, 16, 17, 18) を使う場合は、セレクトタをII、III、IV、またはVに設定します。コピーを作成する場合は、リボンの種類に関係なくセレクトタをIVかVに設定します。

## ・文字ピッチセレクトタ

文字ピッチを設定します。

PS2, PS1: プロポーションナルスペーシング

均整のとれた文字間隔でタイプすることができます。デイジーホイールにPSとある場合はPS1に、PS2とある場合はPS2に設定してください。

15: 1インチ (約2.5 cm) に15文字

12: 1インチに12文字

10: 1インチに10文字

## ・印字モードセレクトタ

通常文字かボールド文字を選択し、自動アンダーラインの方法を選択します。

**X X:** Boldfaced characters with continuous underlining.

**X X:** Boldfaced characters with word-by-word underlining.

**XXX:** Boldfaced characters.

X X: Normal characters with continuous underlining.

X X: Normal characters with word-by-word underlining.

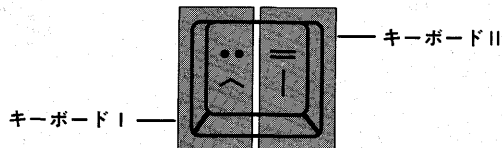
XXX: Normal characters.

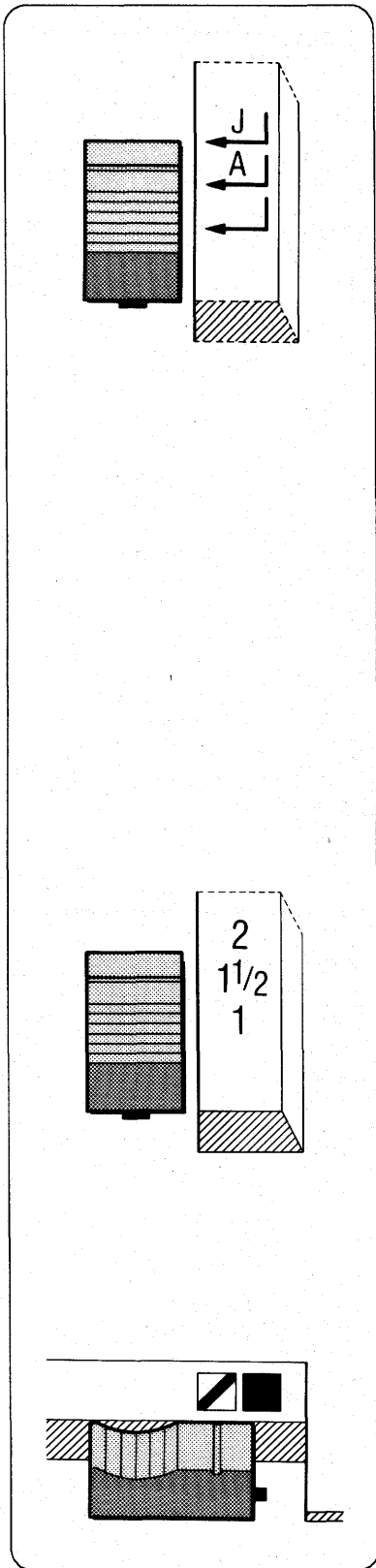
## ・キーボードセレクトタ

タイプライタのキーには、下図のように4個の文字が表示されているものがあります。このセレクトタで左右の文字を打ち分けます。

I: 左側の文字をタイプします。

II: 右側の文字をタイプします。





• **AUTO/JUSTセレクト**

改行の仕方と行末揃えの設定を行います。

↵: (行末揃え)

行末が右マージンに揃えられて印字されます。このとき、単語間のスペースは自動的に均等に割り振られます。タイプした文字は、行ごとに印字されます。

《行末揃えの例》

This machine has a wide array of features designed to simplify your typing tasks and save you precious time.

↵: (自動改行)

ホットゾーン内(13ページ参照)でスペースバーまたはハイフンキーを押すと自動的に改行します。

●お使いのタイプライタがAP610の場合は、編集機能編の「自動ワードラップ機能」のページを参照してください。

↵: (マニュアル改行)

**RETURN** キーを押したときだけ改行します。

• **行ピッチセレクト**

用紙の送り量を設定します。

2 : 2行送り

《例》 This is double spacing.

This is double spacing.

1 1/2 : 1.5行送り

《例》 This is line-and-a-half spacing.

This is line-and-a-half spacing.

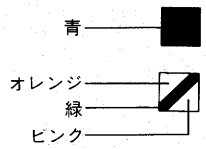
1 : 1行送り

《例》 This is single spacing.

This is single spacing.

• **リボンセレクト**

お使いになるリボンカセットの種類に応じて切りかえてください。



リボン送りダイヤルの色が青のリボンカセットの場合。

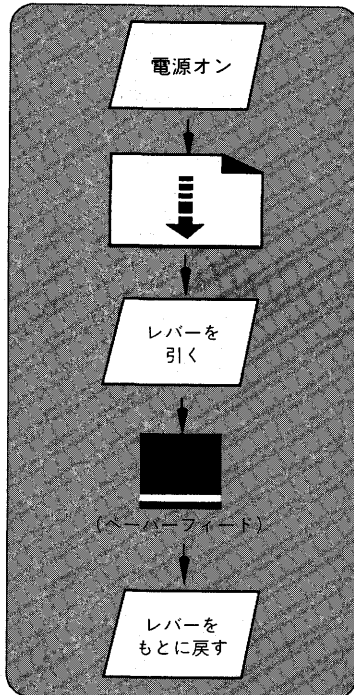
リボン送りダイヤルの色がオレンジ、黄、緑、ピンクのリボンカセットの場合。

リボンカセットの種類については、41ページを参照してください。

# PART 1 タイピングの前に

## 自動給紙

あらかじめ設定したタイピング開始行まで用紙を送ります。



電源を入れます。

キャリアは設定されている左マージンの位置まで移動します。

ペーパーサポートに用紙を置き、プラテンにあたるまで用紙を挿入します。

ペーパーベイルレバーを手前に引きます。

用紙はタイピング開始行まで自動的に送られます。

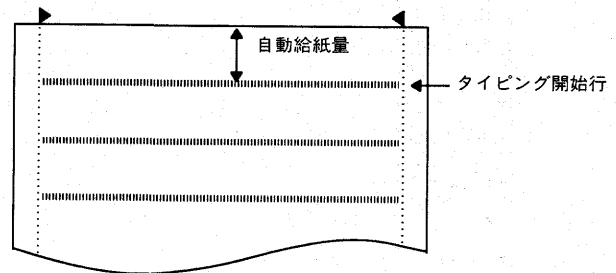
ペーパーベイルレバーをもとの位置に戻します。

メモ

・本機を初めて使用するときは、用紙の上端から1インチ（6行目）まで用紙が送られます。給紙量を変更する方法については、次の「タイピング開始行」を参照してください。

## タイピング開始行（トップマージン）

自動給紙量の設定を変更します。

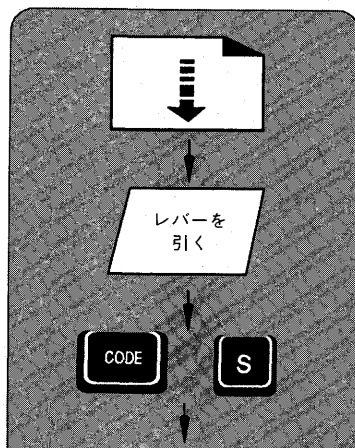


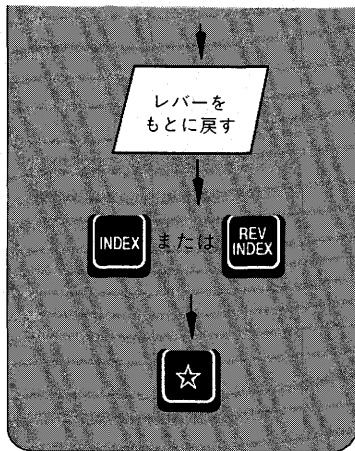
### ■タイピング開始行の設定

ペーパーサポートに用紙を置き、プラテンにあたるまで用紙を挿入します。

ペーパーベイルレバーを手前に引きます。

用紙は上端から1インチ（6行目）まで自動的に送られます。





ペーパーベイルレバーをもとの位置に戻します。

設定したい開始行まで用紙を送ります。

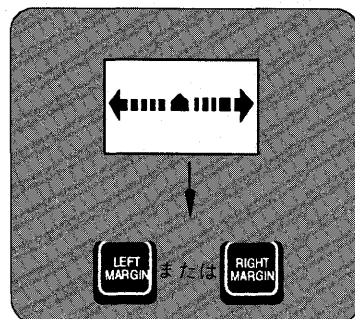
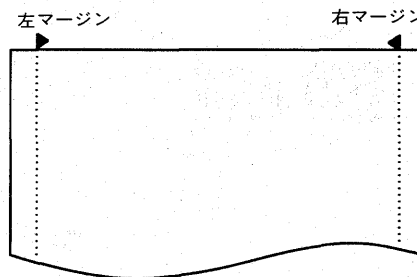
- ・設定したい行数があらかじめわかっているときは、行数を2桁の数字（01～55）でタイプします。

新たなタイピング開始行（自動給紙量）が設定されます。

**メモ**

- ・電源を切っても、設定した自動給紙量は保持されます。
- ・**INDEX**または**REV INDEX**キーを1回押すたびに送られる用紙の量は、行ピッチセクタの設定によって異なります。また、タイピング開始行を2桁の数字で設定した場合は、行数がシングルスペースで数えられます。
- ・タイピング開始行を微調整する場合は、**CODE**キーを押しながら**INDEX**キーを押すか、**CODE**キーを押しながら**REV INDEX**キーを押します。「用紙の半行送り・半行戻し」（34ページ）を参照してください。

## マージン



### ■マージンの設定

キャリアをマージン設定位置に移動します。

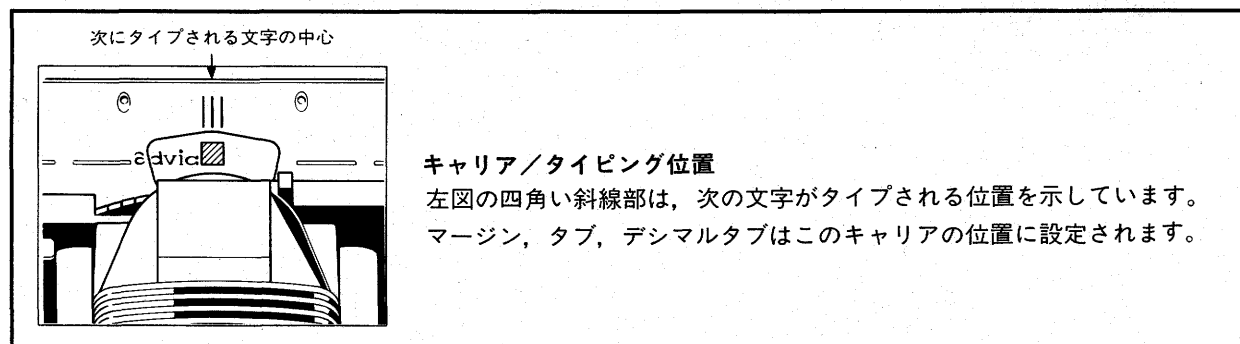
- ・既に設定されているマージンにキャリアが達すると、アラームが鳴り、キャリアが動かなくなります。

**MARGIN RELEASE** キーを押したあと、キャリアの移動を続けてください。

新たなマージンが設定されます。

**メモ**

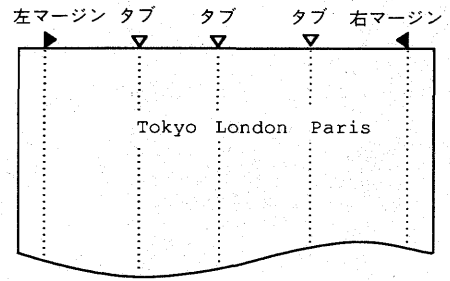
- ・左右マージン間の設定可能な最小幅は、1.5インチ（3.8cm）です。



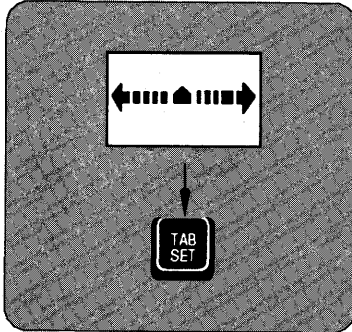
#### キャリア/タイピング位置

左図の四角い斜線部は、次の文字がタイプされる位置を示しています。マージン、タブ、デシマルタブはこのキャリアの位置に設定されます。

# タブ



## ■タブの設定

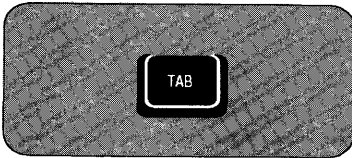


タブを設定したい位置までキャリアを移動します。

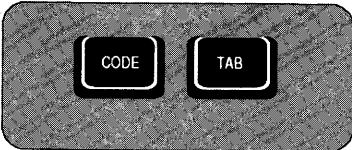
タブが設定されます。

- ・タブは20個（デシマルタブを含む）まで設定できます。

## ■タブの実行



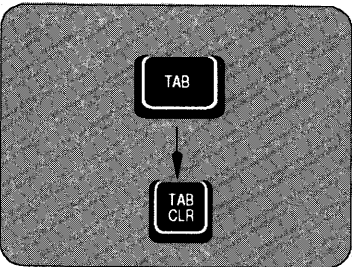
キャリアが次のタブまたは右マージンに移動します。



キャリアが前のタブまたは左マージンに移動します。

## ■タブのクリア

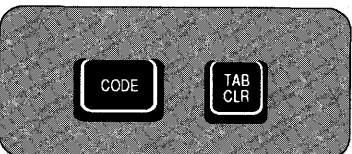
[特定のタブをクリアする場合]



クリアしたいタブの位置にキャリアを移動します。

タブがクリアされます。

[すべてのタブをクリアする場合]



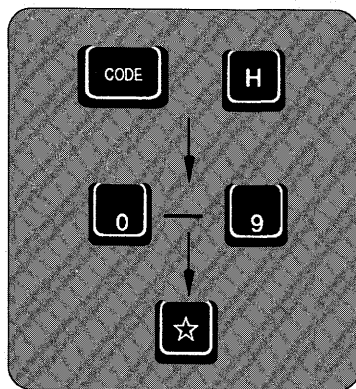
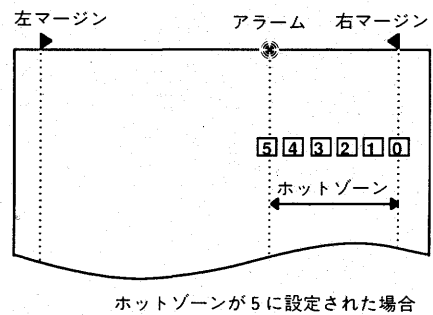
すべてのタブがクリアされます。

- ・同時にすべてのデシマルタブもクリアされます。

# ホットゾーン

タイピング中に右マージンに近づくと、ある位置でアラームが鳴ります。その位置から右マージンまでをホットゾーンといいます。ホットゾーンでは次のように動作します。

1. キャリアがホットゾーンに達すると、アラームが鳴ります。
2. 自動改行(↵)または行末揃え(↵)を設定しているときホットゾーン内でスペースバーまたはハイフンキーを押すと、自動的に改行され、キャリアが次の行の左マージンに移動します。ホットゾーンは最大9文字まで設定できます。



## ■設定

設定するホットゾーンの文字数を1桁の数字(0~9)でタイプします。

新たなホットゾーンが設定されます。

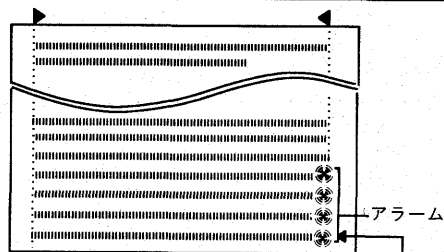
## メモ

- ・電源を切っても、設定したホットゾーンは保持されます。
- ・AP610の場合は、編集機能編の「自動ワードラップ機能」のページを参照してください。

# 自動ページエンド警告

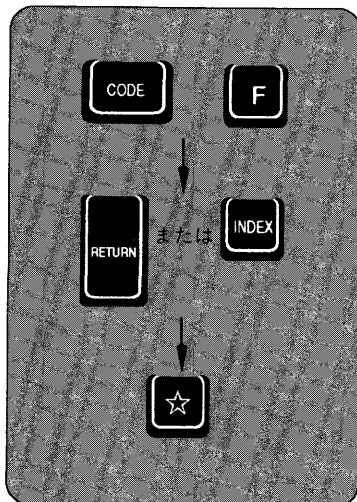
あらかじめ1ページ当たりの行数を登録しておく、複数ページの文書を作成するときに各ページの最終行を揃えることができます。

残りの行数が4行になるとアラームが鳴り、最終行をタイプし終わると、キーボードがロックされます。



自動ページエンドの位置 (最終行)

## ■自動ページエンド位置の設定



自動ページエンド位置まで用紙を送ります。

- ・設定したい行数があらかじめわかっているときは、行数を2桁の数字 (04～99) でタイプします。

自動ページエンド位置が設定されます。

用紙を給紙するごとに自動ページエンド警告が実行されます。

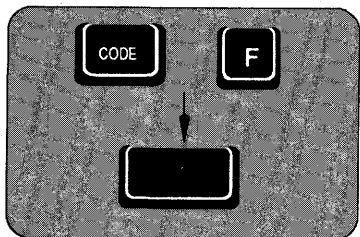
- ・最終行でキーボードがロックされたら、**MARGIN RELEASE** キーを押してキーボードのロックを解除してから、用紙を取り替えます。

### メモ

- ・電源を切っても、設定した自動ページエンド位置は保持されます。
- ・**RETURN** キーまたは **INDEX** キーを1回押すたびに送られる紙の量は、行ピッチセレクタの設定によって異なります。また、ページエンド位置を2桁の数字で設定した場合は、行数がシングルスペースで数えられます。
- ・自動ページエンド位置を微調整する場合は、**CODE** キーを押しながら **INDEX** キーを押すか、**CODE** キーを押しながら **REV INDEX** キーを押します。「用紙の半行送り・半行戻し」(34ページ)を参照してください。
- ・AP610の場合は、**☆** キーを押した後でページエンド位置での用紙の排出が設定できます。
- ・工場出荷時に設定されている自動ページエンド位置(55行目)で自動ページエンド警告を実行する場合は、**CODE** キーを押しながら **F** キーを押し、その後で **☆** キーを押します。

## ■自動ページエンド警告のクリア

自動ページエンド警告の実行をクリアします。ただし、設定された自動ページエンド警告の位置は保持されますので、必要などきに呼び出して使うことができます。



自動ページエンド警告の実行がクリアされます。

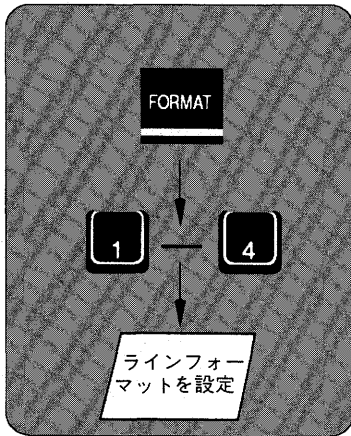
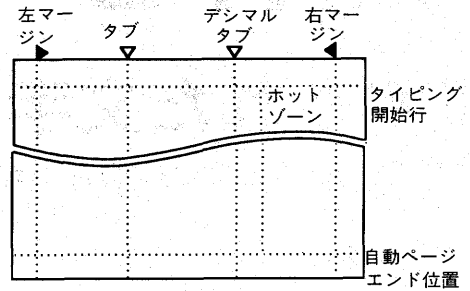
### メモ

- ・設定した自動ページエンド警告を再び実行する場合は、まず **CODE** キーを押しながら **F** キーを押し、その後で **☆** キーを押します。



# ラインフォーマット (AP610の場合)

ラインフォーマットには左右マージン、タブ、デシマルタブ、ホットゾーン、タイピング開始行 (トップマージン)、自動ページエンド位置が含まれます。ラインフォーマットは最大4個まで設定することができます。必要なときに呼び出して使うことができます。設定したラインフォーマットはタイピング中にいつでも修正することができます。また、修正を加えたラインフォーマットは、電源を切る直前の状態で保存されます。各ラインフォーマットに何が登録されているかメモしておくと呼び出すときに便利です。



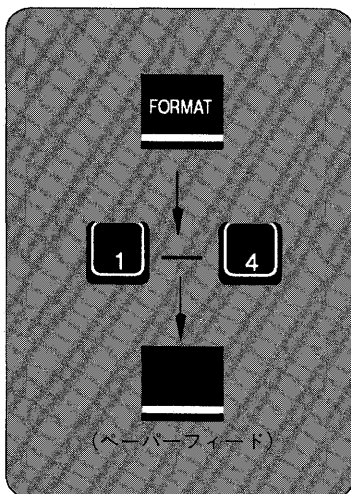
## ■設定

ラインフォーマットのタイトルとして、1桁の数字(1~4)をタイプします。

ラインフォーマットを設定します。

### メモ

- 電源を切っても、設定したラインフォーマットは保持されます。
- 指定したタイトルと同じタイトルすでにラインフォーマットが保存されている場合は、新しいラインフォーマットに書き換えられます。



## ■呼び出し

呼び出したいラインフォーマットのタイトルをタイプします。  
ラインフォーマットが呼び出されます。

呼び出したラインフォーマットのタイピング開始行まで用紙が送られます。

- CODE** キーを押しながら **F** キーを押し、次に **☆** キーを押すと、呼び出したラインフォーマットの自動ページエンド警告が実行されます。

# PART 2 自動機能

## 印字された文字の訂正

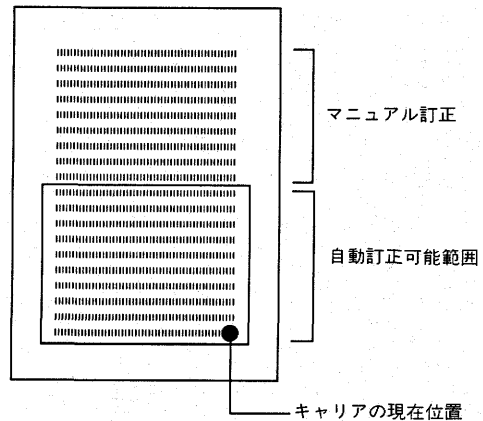
すでに印字されている文字の訂正には、2通りの方法があります。

### 1. 自動訂正

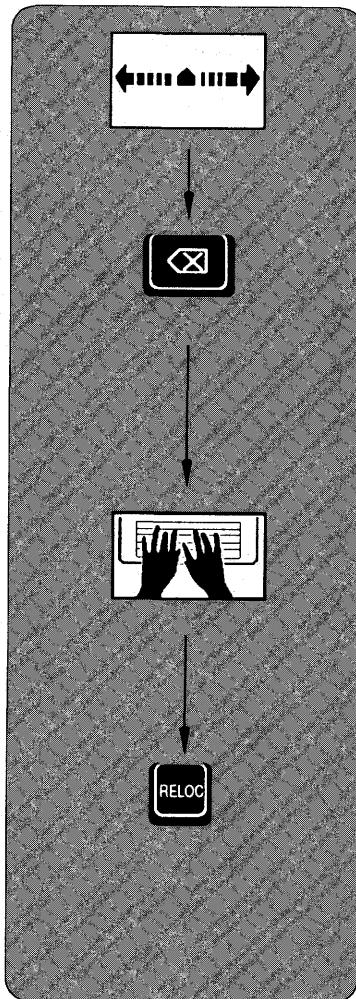
訂正する文字が、印字済の文字を記憶している自動訂正用メモリ内にある場合に使用します。

### 2. マニュアル訂正

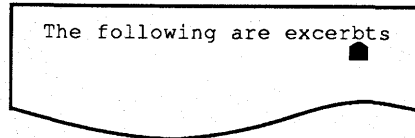
訂正する文字が、自動訂正用メモリを越えた場合などに使用します。



## 自動訂正

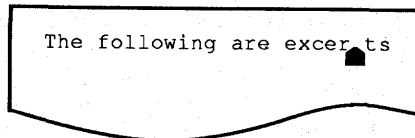


**BACKSPACE** または **REV INDEX** キーを使って、キャリアを訂正する文字の位置まで移動します。

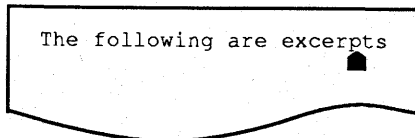


このキーを押すたびに、1文字ずつ消去されます。

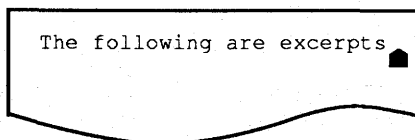
・続けて消去する場合は、**☒** キーを押したあと、**REPEAT** キーを押し続けます。



正しい文字をタイプします。



キャリアは訂正前の位置に戻ります。



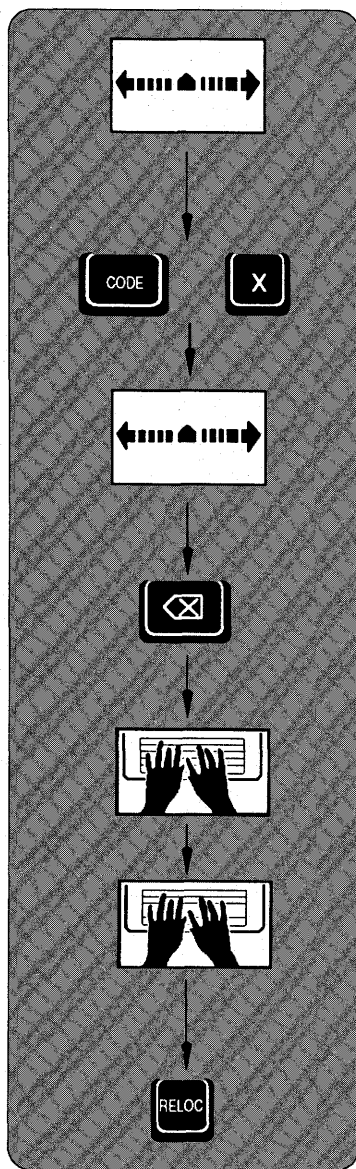
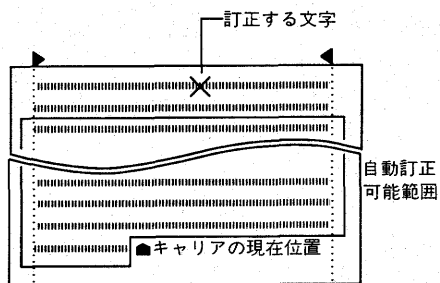
**メモ**

・AP600は、約700文字を自動訂正用メモリに記憶しています。AP610の場合は、約1000文字まで自動訂正用メモリに記憶されます。

# マニュアル訂正

次のような理由で自動訂正が行えないときは、マニュアル訂正を行います。

- ・訂正したい文字が自動訂正用メモリの範囲外にあるとき
- ・電源を切ってしまったとき
- ・コレクションテープを取り替えてから訂正を行うとき



**BACKSPACE** または **REV INDEX** キーを使って、自動訂正用メモリの範囲の最初の文字までキャリアを移動します。自動訂正用メモリの範囲を越える位置に達すると、アラームが鳴り、キャリアが動かなくなります。

キャリア移動ができるようになります。

**REV INDEX** キー、**BACKSPACE** キー、またはスペースバーを押して、キャリアを訂正する文字に移動します。

キーを押します。

訂正する文字をタイプします。  
文字が消えます。

正しい文字をタイプします。

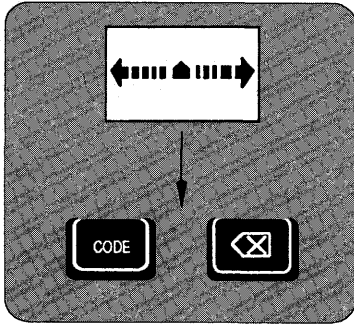
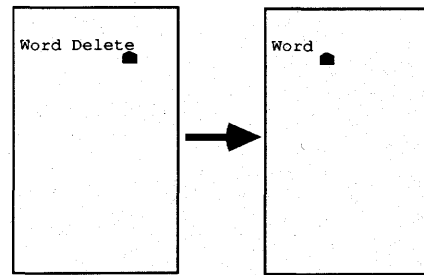
キャリアは訂正前の位置に戻ります。

## メモ

- ・訂正する文字がボールドやアンダーライン付き文字の場合は、印字モードセクタを訂正したい文字と同じ設定にしてから、訂正を行います。

# ワードデリート

この機能を使うと、1回のキー操作で単語全体を消すことができます。この機能は消去する単語が自動訂正用メモリの範囲内にある場合に使用できます。



消去したい単語の語尾にキャリアを移動します。

単語が消えます。

## メモ

- ・ワードデリートを途中で中止する場合は、左右の **CODE** キーを押しながらスペースバーを押します。

# 基本機能

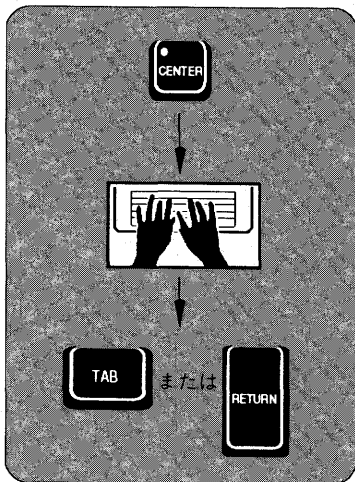
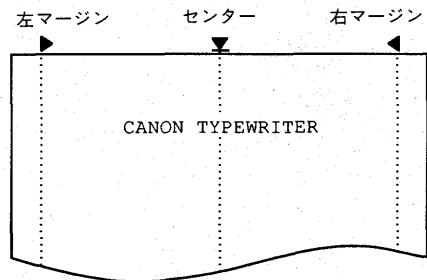
## センタリング

4種類のセンタリングを行うことができます。

- ・マージン間のセンタリング（またはインデントした位置と右マージンとの間のセンタリング）
- ・タブ間のセンタリング
- ・単語間のセンタリング
- ・指定点を中心としたセンタリング

タイプした語句がセンタリング可能なスペースを越えると、アラームが鳴ります。センタリングを中止するときは、印字前に **CENTER** キーをもう一度押します。

### ■マージン間のセンタリング

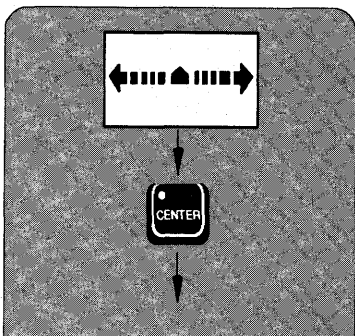
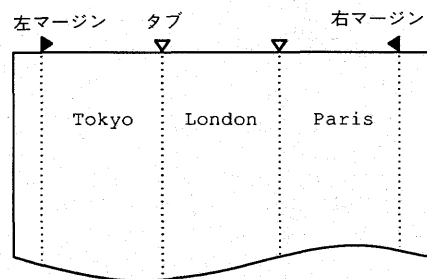


センタリングする語句をタイプします。

- ・間違った語句をタイプしたときは、**☒** キーを押すと、タイプした語句をすべてクリアすることができます。(AP600の場合)

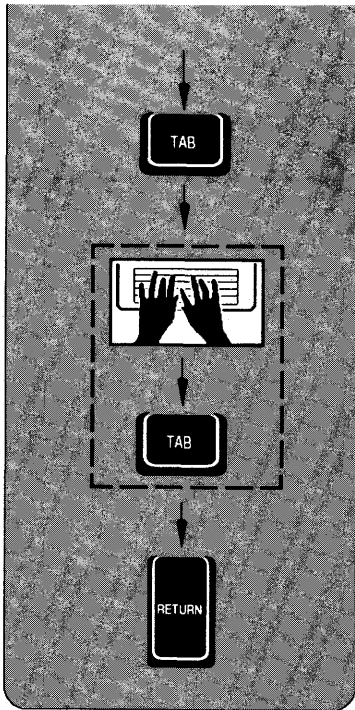
語句が左右マージンの中央に印字されます。

### ■タブ間のセンタリング



キャリアをセンタリングする位置の左にあるタブに移動します。

**CENTER** キーを押します。



センタリングする語句をタイプします。

- ・間違った語句をタイプしたときは、**☒** キーを押すと、タイプした語句をすべてクリアすることができます。(AP600の場合)

語句がタブ間の中央に印字されます。

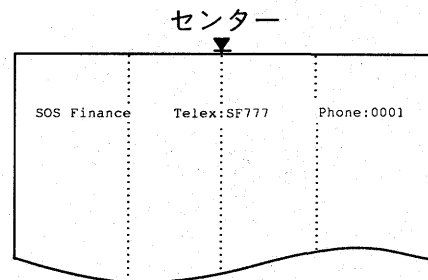
キャリアは次のタブ位置（他に設定されているタブがない場合は、右マージン）に移動します。

- ・続けてセンタリングするときは、左の操作を繰り返します。

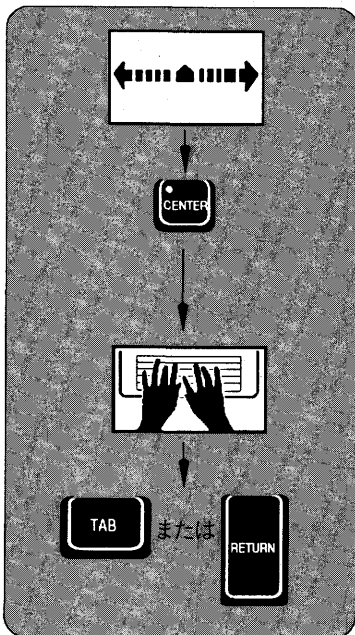
タイピング行の最後のセンタリングが終わったら、**RETURN** キーを押します。

## ■単語間のセンタリング

すでに印字されている2つの単語の中央に語句を印字します。単語間のセンタリングは自動訂正用メモリの範囲内で行うことができます。



キャリアをセンタリングする単語と単語の間のスペースに移動します。



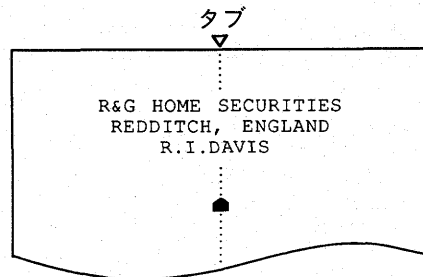
センタリングする語句をタイプします。

- ・間違った語句をタイプしたときは、**☒** キーを押すと、タイプした語句をすべてクリアすることができます。(AP600の場合)

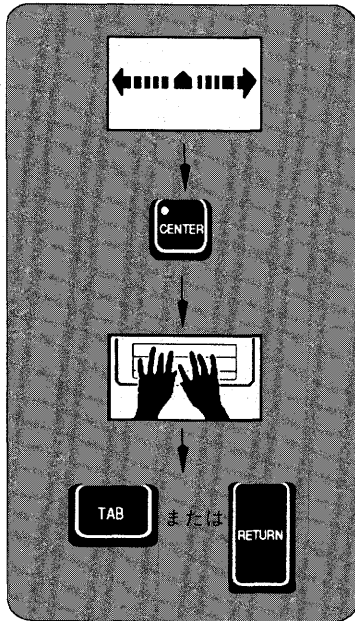
**TAB** キーまたは **RETURN** キーを押すと、語句が単語間の中央に印字されます。

## ■指定点を中心としたセンタリング

指定点を中心としたセンタリングを数行にわたって行う場合は、指定点にタブを設定しておく便利です。



指定点をタブ位置にした場合



語句を印字する中心の位置にキャリアを移動します。

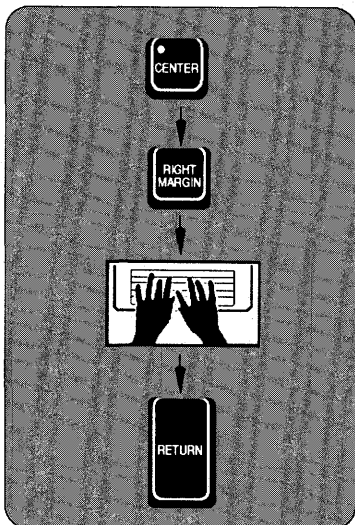
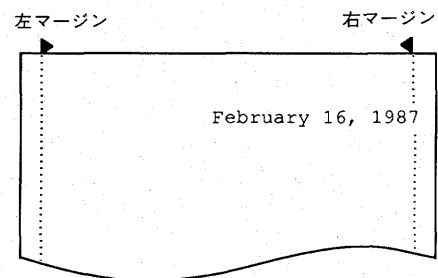
センタリングする語句をタイプします。

- ・間違った語句をタイプしたときは、 キーを押すと、タイプした語句をすべてクリアすることができます。(AP600の場合)

語句が指定点を中心に印字されます。

## 右寄せ

日付、住所などの語句を右マージンに揃えて印字します。



右寄せする語句をタイプします。

- ・間違った語句をタイプしたときは、 キーを押すと、タイプした語句をすべてクリアすることができます。(AP600の場合)

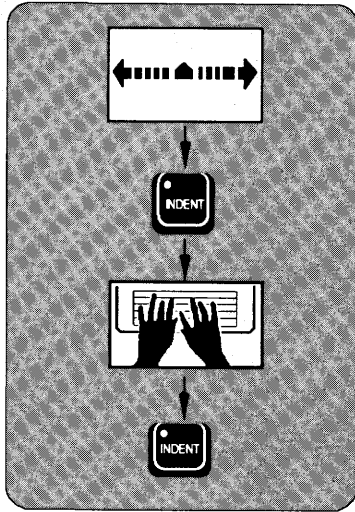
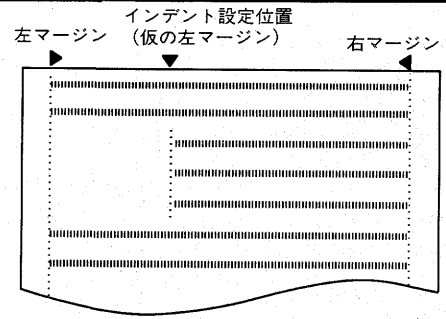
語句が右寄せで印字されます。

メモ

・右寄せを中止するときは、印字前に **CENTER** キーを押します。

# インデント

仮の左マージンを左右マージン間に設定すると、行の打ち始めがインデント位置に揃います。



インデントを設定する位置にキャリアを移動します。

**INDENT** キーのランプが点灯します。

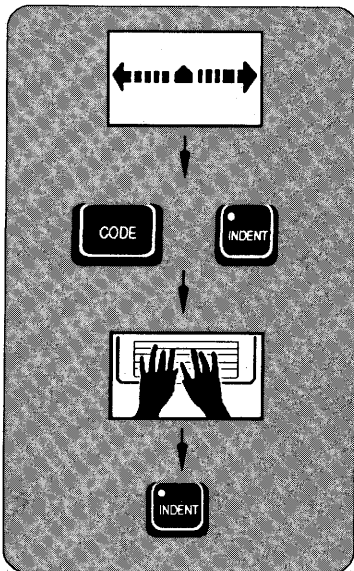
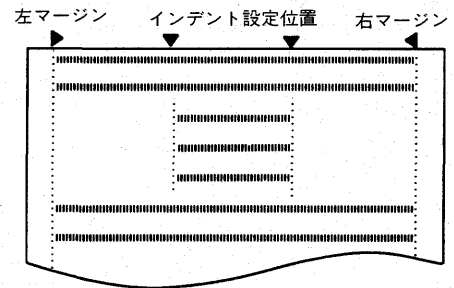
インデントする文書をタイプします。**INDENT** キーのランプ点灯中は、改行後、キャリアがインデント位置に移動します。

インデント機能を解除します。

**INDENT** キーのランプが消え、キャリアは、次の行の左マージンに移動します。

# ブロックインデント

左右マージンから等距離にインデントします。



左のインデント位置にキャリアを移動します。

左右マージンと各インデント位置の距離は自動的に等しくなるよう設定されます。

ブロックインデントの位置（仮の左右マージン）が設定されます。

**INDENT** キーのランプが点灯します。

文書をタイプします。

**INDENT** キーのランプ点灯中は、改行後、キャリアが左のインデント位置に移動します。

ブロックインデントを解除します。

**INDENT** キーのランプが消え、キャリアは、次の行の左マージンに移動します。

## メモ

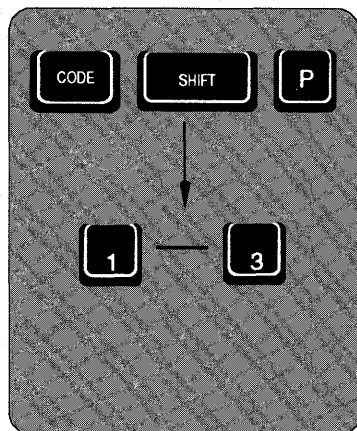
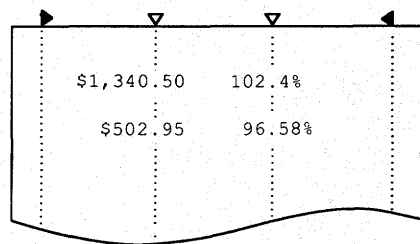
- 仮の左右マージン間の設定可能な最小幅は、1.5インチ(約3.8cm)です。最小幅より狭い仮の左右マージンは、アラームが鳴り、設定できません。



# 作表

## デシマルタブ

デシマルタブ（自動桁合わせ）の設定位置に数字の小数点を揃えて印字します。整数部は三桁位取りの設定に従って印字されます。また、数字に記号を組み合わせせてタイプすることができます。



### ■三桁位取りの設定

**CODE**, **SHIFT**, **P** キーを同時に押します。

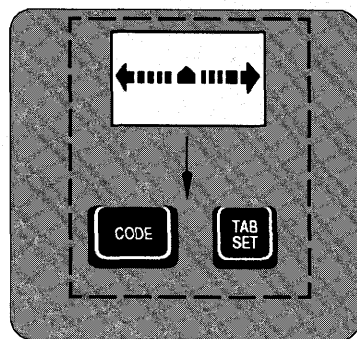
設定したい三桁位取りの方法を、1桁の数字（1～3）でタイプします。

（例）

<b>1</b> : XXX	3桁位取りなし	12345.00
<b>2</b> : X, X	3桁ごとにコンマ	12,345.00
<b>3</b> : X X	3桁ごとにスペース	12 345.00

**メモ**

・本機を初めて使用する場合、三桁位取りは「XXX：三桁位取りなし」に設定されています。

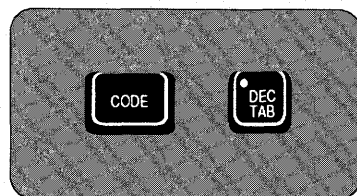


### ■デシマルタブの設定

デシマルタブを設定する位置にキャリアを移動します。

デシマルタブが設定されます。

・必要に応じて、上記の操作を繰り返します。



### ■デシマルタブの位置確認

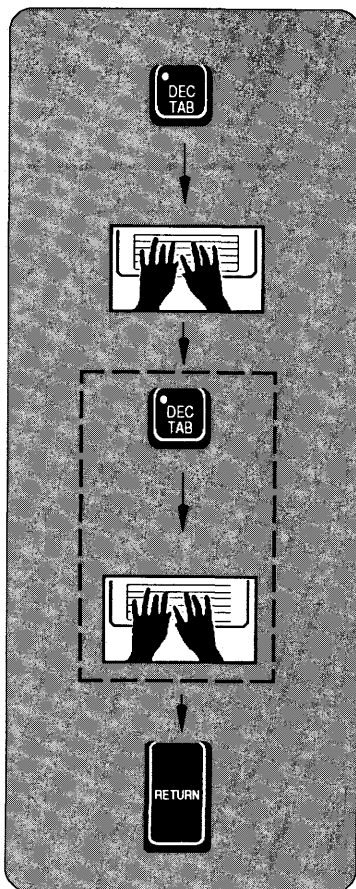
キャリアは、次のデシマルタブ位置に移動します。

・キャリアと右マージンの間にデシマルタブが設定されていないときは、アラームが鳴ります。

**メモ**

- ・タブの位置に重ねてデシマルタブを設定することができます。
- ・デシマルタブとタブは合計20個まで設定できます。20個以上設定しようとするとアラームが鳴り、設定できません。

## ■ デシマルタブの実行



数字をタイプします。  
小数点や記号も必要に応じて入れてください。

タイプした数字の小数点が、デシマルタブ位置になるように印字されます。

数字をタイプします。  
・同じ行の各デシマルタブ位置について左の操作を繰り返します。

タイピング行の最後の数字をタイプしたら、**RETURN** キーを押します。  
キャリアは次の行の左マージンに移動します。

・次の行でデシマルタブを実行するときは、**DEC TAB** キーを押す操作から繰り返してください。

### メモ

- ・次のような場合はアラームが鳴り、デシマルタブは実行できません。  
キャリア位置と右マージンの中にデシマルタブが設定されていない場合  
タイプした数字の桁数がデシマルタブ間のスペースを越える場合

## ■ デシマルタブのクリア

[特定のデシマルタブをクリアする場合]

クリアするデシマルタブにキャリアを移動します。

デシマルタブがクリアされます。

[すべてのデシマルタブをクリアする場合]

すべてのデシマルタブがクリアされます。

- ・同時にすべてのタブもクリアされます。

# コラムレイアウト

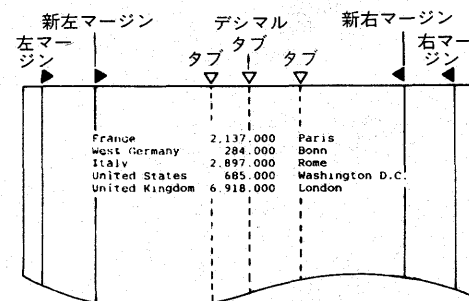
各コラムの一番長い語句または数字の桁数をタイプすると、コラム間のスペースが自動的に割り振られ、表などをバランスよく作成できます。

2種類のコラムレイアウトが選択できます。

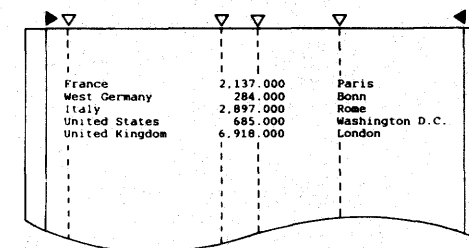
**CENTER** キーを押すとき：コラム間が3文字分のスペースになるよう新しい左右マージンが設定されます。

**CENTER** キーを押さないとき：現設定マージンを変えずに各コラムを均等に割り振ります。

**CENTER** キーを押したコラムレイアウト



**CENTER** キーを押さないコラムレイアウト



## ■コラムの設定

コラムレイアウトを実行する前に、それぞれのコラムの幅を設定しておく必要があります。マージン、タブ、デシマルタブは自動的に設定されます。数字コラムがあるときは、三桁位取りを設定しておきます。(23ページ参照)

キャリアを左マージンに移動します。

・インデントをしているときは、**INDENT** キーを押してインデントを解除してから、コラムレイアウトの設定を行います。

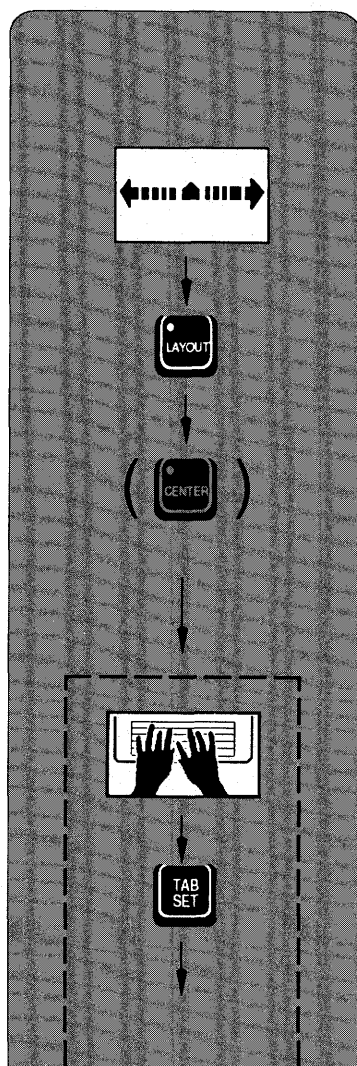
各コラムを3文字分のスペースで割り振る場合(上図参照)は、**CENTER** キーを押します。

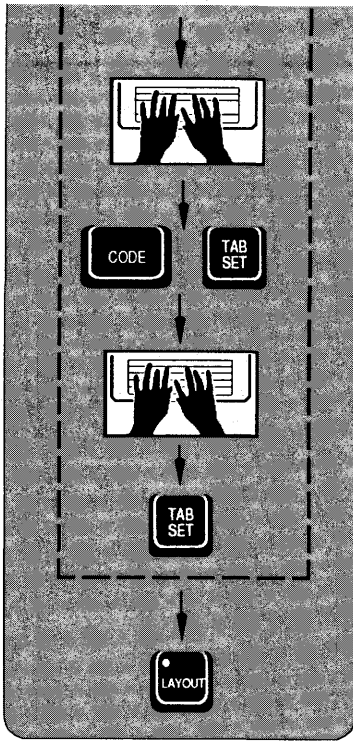
・コラムを現マージン間で均等に割り振る場合は、**CENTER** キーを押さずに次の操作に進んでください。

[文字コラムの設定]

そのコラムの一番長い語句(例：United Kingdom)をタイプします。

文字コラムの幅が設定され、次のコラムを設定できます。





### 〔数字コラムの設定〕

そのコラムの一番長い整数部（例：2137）をタイプします。

数字コラムの整数部の桁数が設定されます。

- ・小数部がない場合は、次の操作を省略してください。

そのコラムの一番長い小数部（例：000）をタイプします。

数字コラムの小数部の桁数が設定されます。

- ・必要に応じて文字コラムまたは数字コラムの設定を繰り返します。

すべてのコラムの設定が終わったら、**LAYOUT** キーを押します。

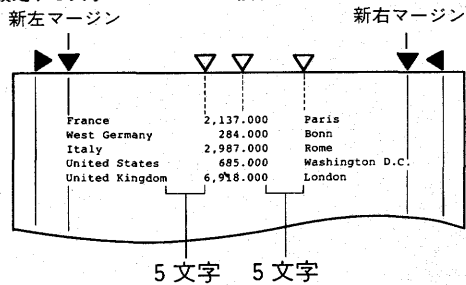
キャリアは、左マージンへ移動します。

- ・**CENTER** キーを押した場合、キャリアは同じ行の新たに設定された左マージンに移動します。

### メモ

- ・**LAYOUT** キーと **CENTER** キーを押した後、コラム間のスペースを調整することができます。まず **☆** キーを押し、設定する文字スペースに対応する1桁の数字(1~9)をタイプします。その後、もう一度 **☆** キーを押します。

設定する文字スペースが5の場合  
新左マージン



## ■コラムレイアウトの実行

実際にコラムレイアウトを行います。

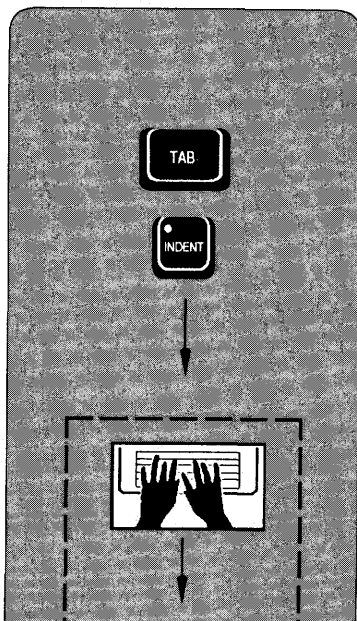
通常の方法で、コラムに入れる文字や数字をタイプします。

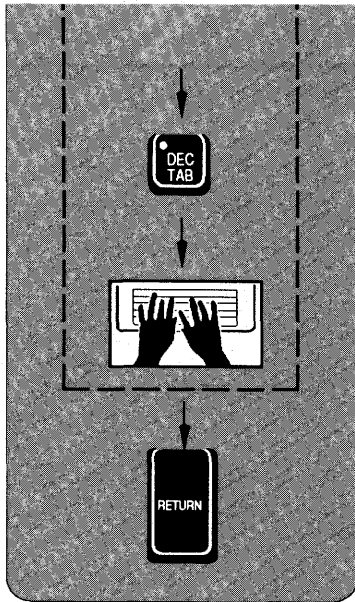
**CENTER** キーを押さないコラムレイアウトの場合は、**TAB**、**INDENT** キーを押してください。

**CENTER** キーを押したコラムレイアウトの場合は、ここから操作を始めてください。

### 〔文字コラムの実行〕

コラム内の最初の文字（例：France）をタイプします。





### 〔数字コラムの実行〕

次のコラムが数字コラムの場合は、**DEC TAB** キーを押します。

コラム内の数字をタイプします。

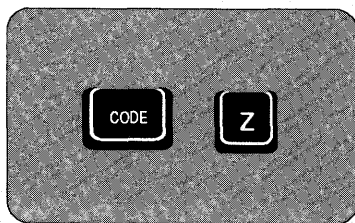
- ・次のコラムが文字コラムの場合は、**TAB** キーを押します。数字コラムの場合は、**DEC TAB** キーを押します。
- ・必要に応じて文字コラムまたは数字コラムの実行を繰り返します。

その行の最後の語句または数字をタイプしたら、**RETURN** キーを押します。

- ・タイプした語句または数字が印字され、キャリアは次の行に移動します。
- ・各行ごとに操作を繰り返してください。

### メモ

・枠取りについては、「枠取り」(28ページ)を参照してください。

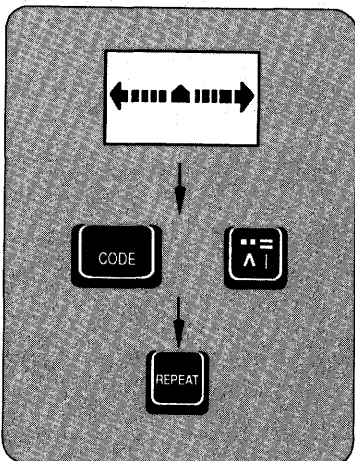
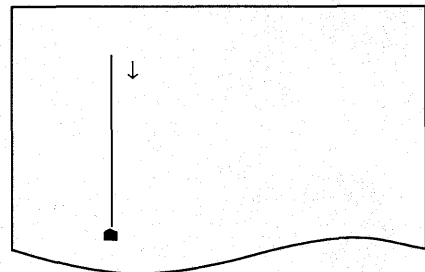


### ■オリジナルフォーマットへの復帰

**CODE** キーを押しながら **Z** キーを押すと、コラムレイアウトで変更されたマージン、タブ、デシマルタブ、ホットゾーンがコラム設定前の位置（オリジナルフォーマット）に戻ります。

## 縦線

縦線をキー操作だけで引くことができます。



縦線を引き始める位置にキャリアを移動します。

縦線を印字します。

続けて縦線を引きます。

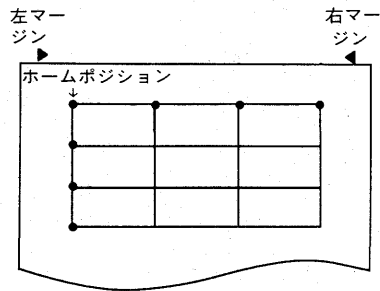
# 枠取り

枠取りを作成します。2種類の枠取りが選択できます。

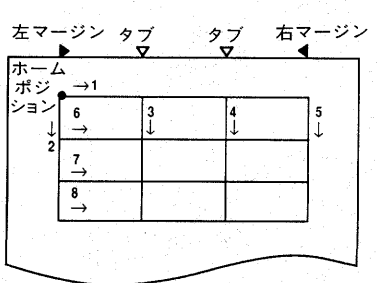
自動枠取り：縦線と横線の位置にタブを設定するだけで自動的に枠取りが作成できます。

マニュアル枠取り：縦線、横線をそれぞれ印字しながら枠取りを行います。

自動枠取り



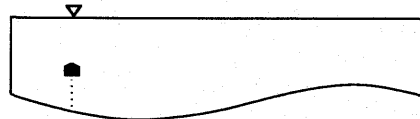
マニュアル枠取り



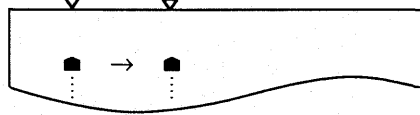
## ■自動枠取り

キャリアをホームポジション（最初の縦線と横線が交わる点）に移動します。

ホームポジションの位置を設定します。



キャリアを次の縦線の位置に移動します。



2番目の縦線の位置が設定されます。  
・必要に応じて縦線の設定を繰り返します。

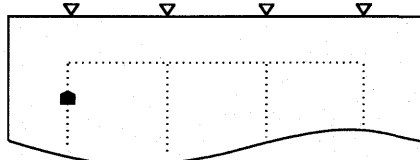
キャリアはホームポジションに戻ります。

用紙を次の横線の位置に移動します。

・横線の位置を微調整する場合は **CODE** キーを押しながら **INDEX** キーを押すか、または **CODE** キーを押しながら **REV INDEX** キーを押します。「用紙の半行送り・半行戻し」(34ページ)を参照してください。

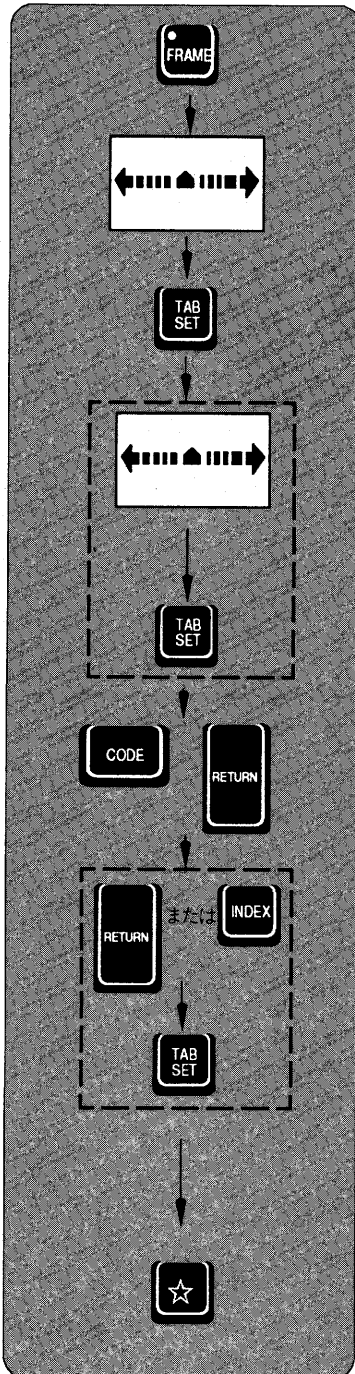
横線の位置が設定されます。

・必要に応じて横線の設定を繰り返します。



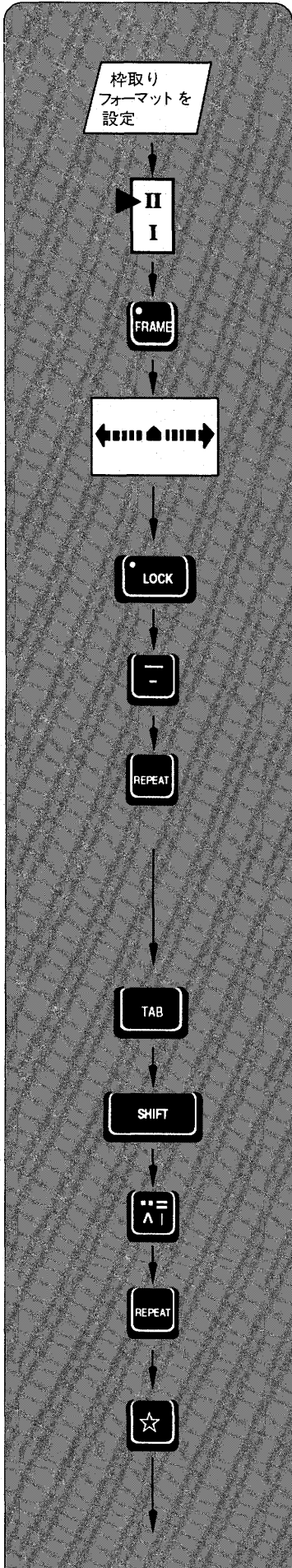
設定した枠取りが印字されます。

印字後、キャリアはホームポジションに戻ります。



**メモ**

- ・印字後、タブとデシマルタブは枠取り作成前の設定位置に戻ります。
- ・印字前に枠取りを中止する場合は、**FRAME** キーを押します。



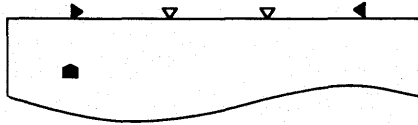
## ■ マニュアル枠取り

枠取りのフォーマット（左右マージンとタブ）を設定します。

キーボードセレクトをIIに設定します。

### [横線の印字]

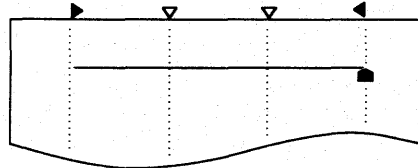
最初の横線を引く行の左マージン（ホームポジション）にキャリアを移動します。



横線を印字します。

続けて、横線を右マージンまで引きます。

右マージンに達すると、アラームが鳴りキャリアが止まります。



キャリアは同じ行の左マージン（ホームポジション）に戻ります。

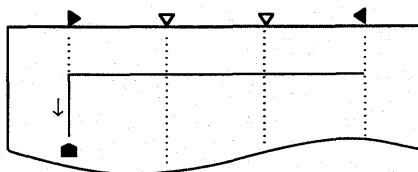
シフトロックを解除します。

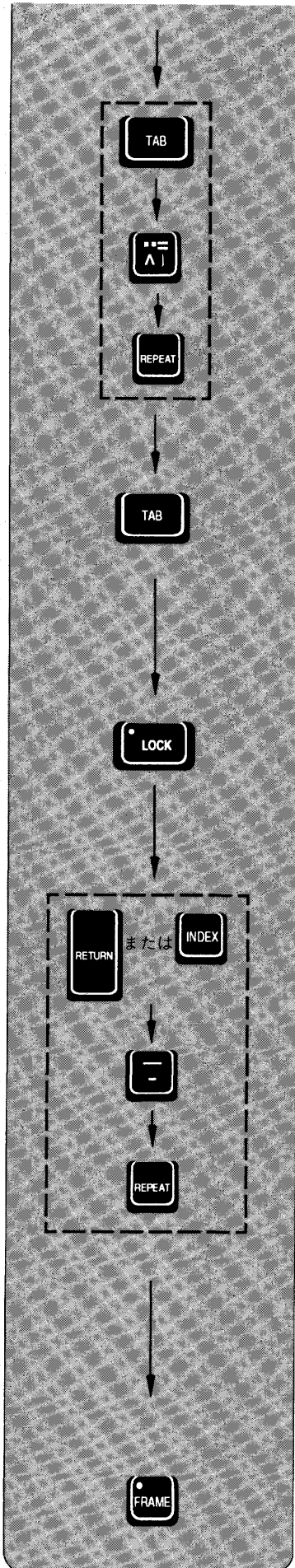
### [縦線の長さの設定]

左マージン上に縦線が印字されます。

続けて、縦線を設定する長さまで引きます。

縦線の長さが設定されます。





**[各縦線の印字]**

キャリアは、コラム上端のタブに移動します。

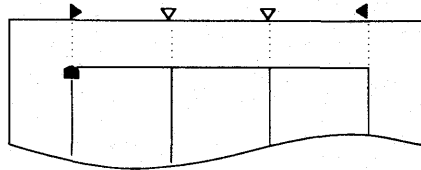
- ・キャリアは、最初の操作では最初のタブに、次の操作では次のタブに、最後は右マージンに移動します。

縦線を印字します。

続けて縦線を引きます。

縦線が設定した長さに達すると、アラームが鳴り、キャリアが止まります。各縦線で同じ操作を繰り返します。

最後の右マージン上の縦線を引き終わったら、**TAB** キーを押します。キャリアはホームポジションに戻ります。



**[各横線の印字]**

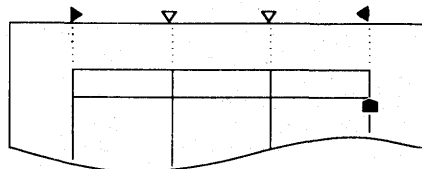
横線を引く位置まで用紙を送ります。

- ・横線の位置を微調整する場合は、**CODE** キーを押しながら **INDEX** キーを押すか、または **CODE** キーを押しながら **REV INDEX** キーを押します。  
「用紙の半行送り・半行戻し」(34ページ)を参照してください。

横線を印字します。

続けて、横線を右マージンまで引きます。

右マージンに達すると、アラームが鳴り、キャリアが止まります。各横線で同じ操作を繰り返します。



枠取りが完成したら、**FRAME** キーを押します。キャリアはホームポジションに戻ります。

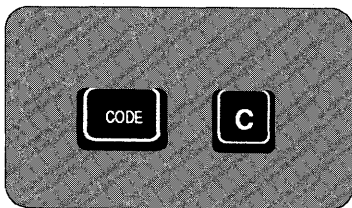


# PART 3 便利な諸機能

## キャプスロック

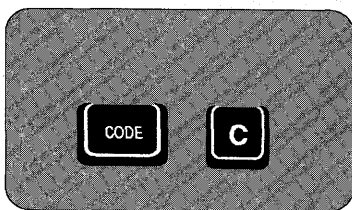
**SHIFT** や **LOCK** キーを使わずに、大文字と数字をタイプすることができます。

CANON INC. 1987



### ■設定

キャプスロックが設定されます。  
ピッという音が3回鳴ります。

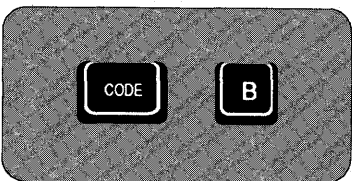
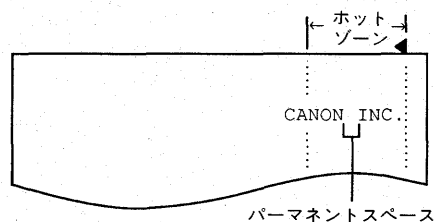


### ■解除

キャプスロックが解除されます。  
ピッという音が1回鳴ります。

## パーマネントスペース

AUTO/JUSTセレクトを自動改行(↵)または行末揃え(↵)に設定している場合、ホットゾーン内でスペースをタイプすると自動的に改行されます。改行しないで続けてタイプしたいときは、パーマネントスペースを使います。途中で切りたくない2つの単語を同じ行にタイプすることができます。



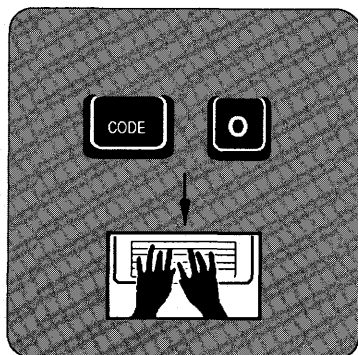
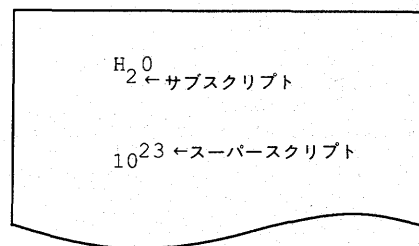
改行はされず、スペースがあげられます。

**メモ**

・AP610の場合は、編集機能編の「自動ワードラップ機能」のページを参照してください。

# サブスクリプトとスーパースクリプト

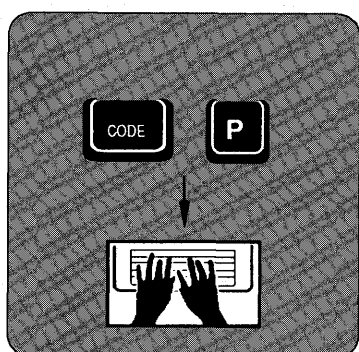
キー操作だけで、サブスクリプト（下付文字， $H_2O$ など）やスーパースクリプト（上付文字， $10^{23}$ など）をタイプできます。



## ■サブスクリプト

用紙は半行，上に送られます。

サブスクリプトの文字を1文字タイプします。  
用紙は自動的にもとの行に戻ります。



## ■スーパースクリプト

用紙は半行，下に送られます。

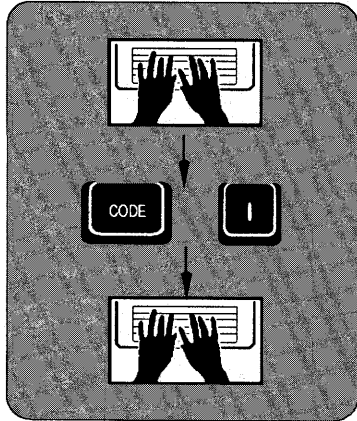
スーパースクリプトの文字を1文字タイプします。  
用紙は自動的にもとの行に戻ります。

**メモ**

・この操作は1文字ごとに行ってください。

# 重ね印字

「 $\emptyset$ 」のように、2つの文字を重ねて印字する場合、この機能を使います。



文字をタイプします。

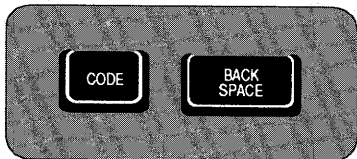
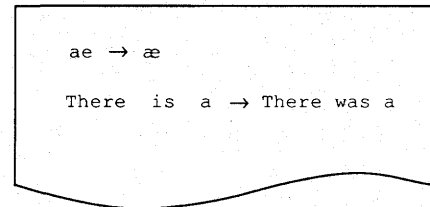
重ねる文字をタイプします。

## メモ

- ・この操作は1文字ごとに行ってください。
- ・AP600の場合は、センタリング、右寄せ、デジマルタブ操作で、この機能が使えます。
- ・AP610の場合は、重ねた文字がディスプレイに表示されます。

# ハーフバックスペース

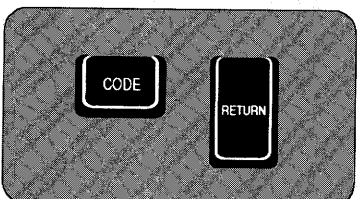
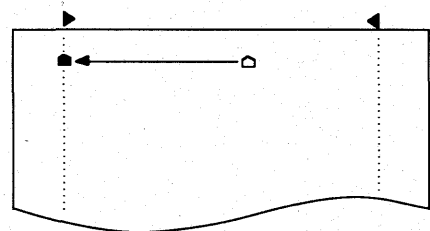
キャリアを1/2文字分、左に戻します。文字合成や、脱字の訂正など、キャリアの位置調整に使用します。



**CODE** キーを押しながら、**BACKSPACE** キーを1回押すごとにキャリアは1/2文字分、左に移動します。

# エクスプレスバックスペース

改行しないでキャリアを左マージンに戻します。マージンやタブの設定後、同じ行にタイプするときなどに使用します。

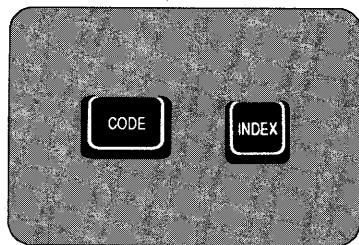


キャリアは同じ行の左マージンに移動します。

## 用紙の半行送り・半行戻し

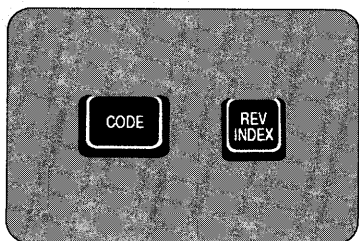
---

行ピッチセレクタの設定に関係なく、用紙を半行だけ送ったり、戻したりするときに使います。



### ■半行送り

用紙は半行(約2.1mm)だけ送られます。



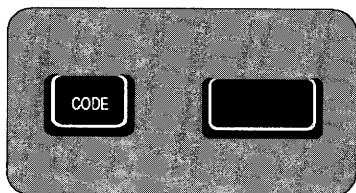
### ■半行戻し

用紙は半行(約2.1mm)だけ戻ります。

## キャリアの微量送り

---

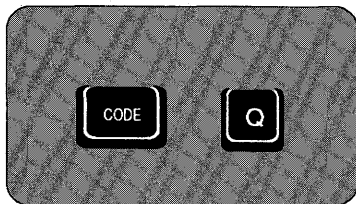
キャリアを右に微量(約0.2mm)送ります。行末揃えで印字した文字のマニュアル訂正を行う場合や、用紙を一度抜いた後の訂正などに利用します。



**CODE** キーを押しながら、スペースバーを1回押すごとにキャリアは右に微量(約0.2mm)移動します。

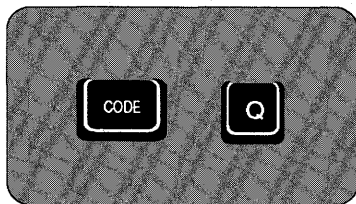
## タイピング中のキャリア移動

行末揃えを選択したときに、キャリアを空送りしてタイピング中のキャリアの位置を確認するのに使用します。



### ■設定

キャリアがタイピング位置に空送りされます。  
タイピングを続けると、キャリアも移動します。



### ■解除

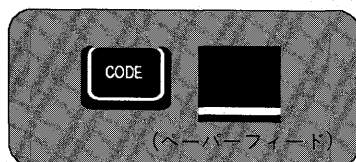
キャリア移動が解除されます。

### メモ

・ AP610の場合は、ディスプレイ使用中にこの機能を使うと、キャリアは空送りされます。タイピング中のキャリアの位置を確認するのに利用できます。

## 自動排紙

用紙が排出されます。

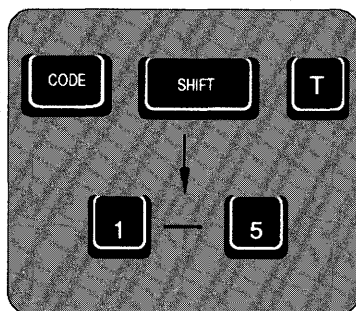


用紙が自動的に排出されます。

## リボンカセットの上下時間の調整

タイピングのスピードに合わせて、リボンカセットの上下時間を調節することができます。上下時間の設定値は、1(速い)から5(遅い)までです。本機を初めて使う場合、リボンの上下時間は3に設定されています。

速いスピードでタイプしても、タイプした文字をひとつひとつ確認したい場合は、リボンの上下時間を1に設定します。印字音が気になるときは、5に設定します。



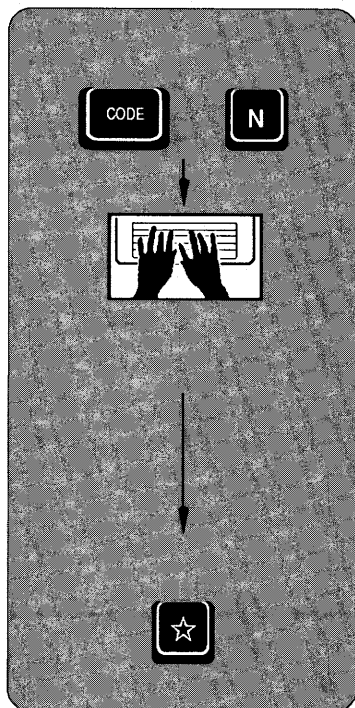
**CODE**、**SHIFT**、**T** キーを同時に押します。

設定したい速度を1桁の数字(1~5)でタイプします。

# キーボードのマルチリンガル変換

簡単なキー操作で、タイプライタのキー配列を各国のキー配列(下記のリスト参照)に変換できます。その場合、選択したキー配列に対応したデジタイズホイールを使用してください。

AP610の場合は、ディスプレイ上のメニューでキー配列を選択します。それぞれの編集機能編を参照してください。

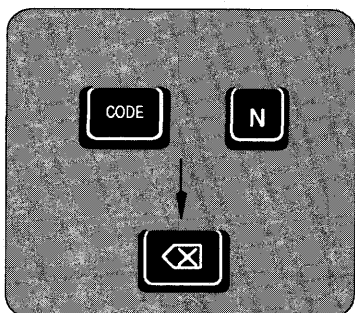


## ■設定

希望するキー配列の国コードをタイプします。

国コード	キー配列	国コード	キー配列
B	英国	I	イタリア
C	スイス	J	日本
D	デンマーク	K	カナダ
E	スペイン	L	ラテンアメリカ
F	フランス	N	ノルウエー
G	西ドイツ	S	スウェーデン
H	オランダ	U	アメリカ合衆国

タイプした国コードのキー配列に変換されました。



## ■解除

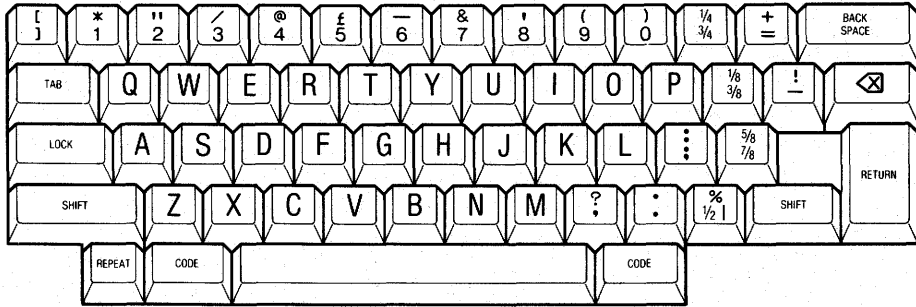
キーボードはもとのキー配列に戻ります。

### メモ

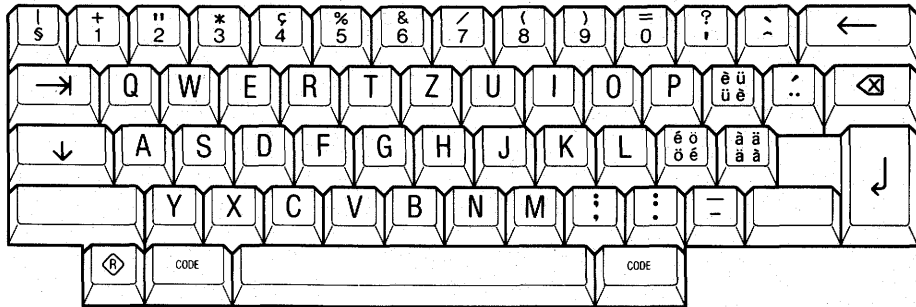
- ・ AP600の場合は、電源を切るとキーボードはもとのキー配列に戻ります。
- ・ AP610の場合は、電源を切っても設定したキー配列は設定しなおすまで有効です。

# 各国キー配列一覧

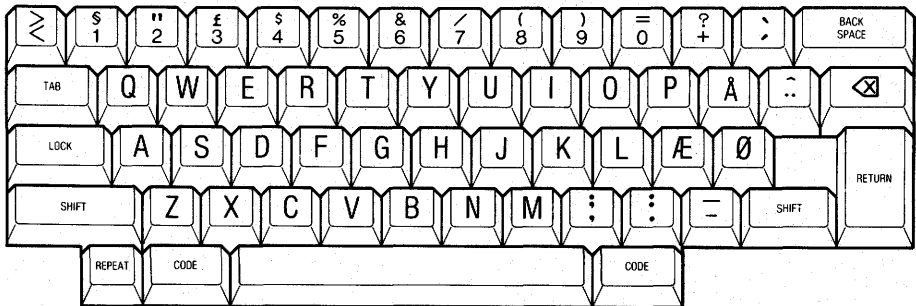
## イギリス (England)



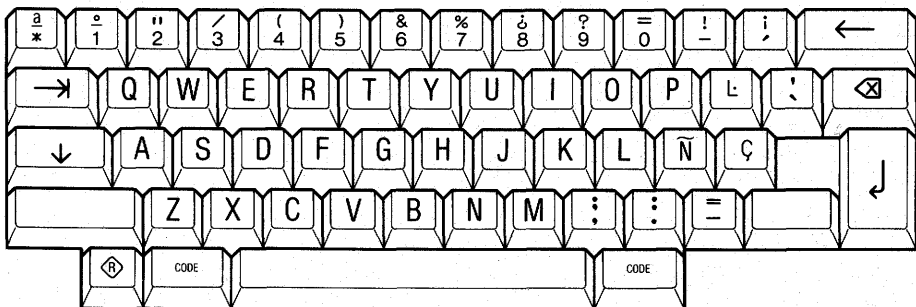
## スイス (Switzerland)



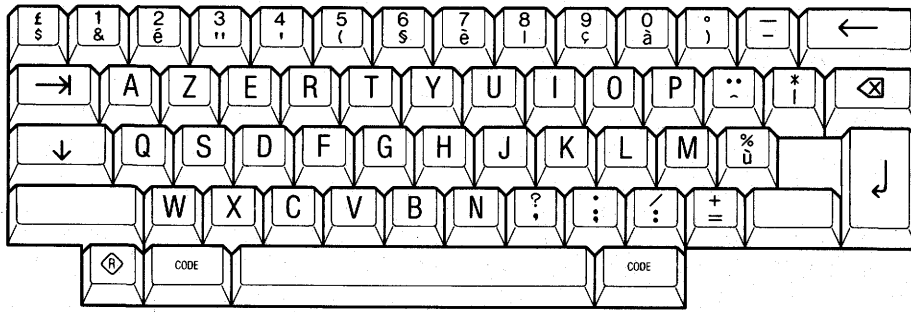
## デンマーク (Denmark)



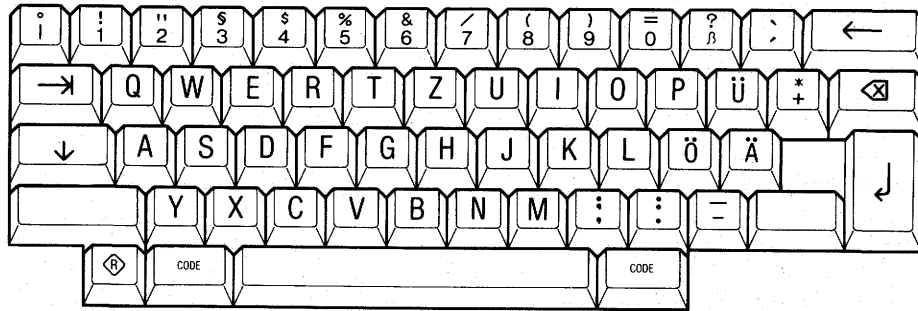
## スペイン (Spain)



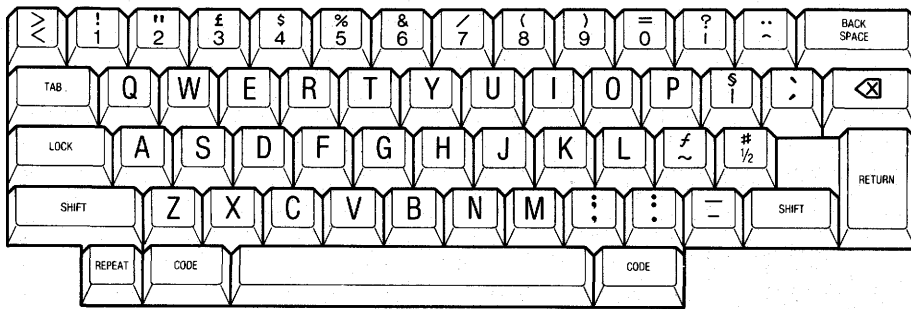
### フランス (France)



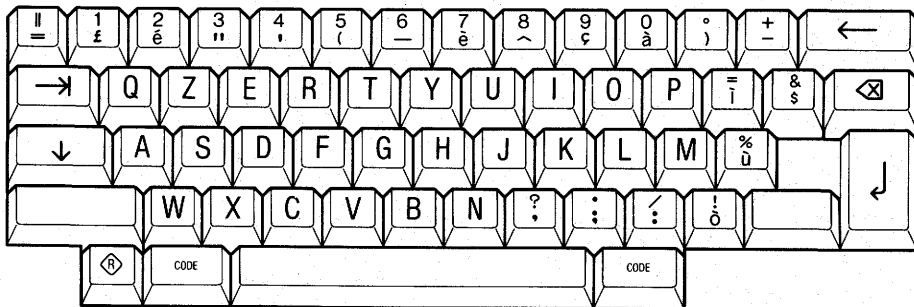
### ドイツ (Germany)



### オランダ (Holland)

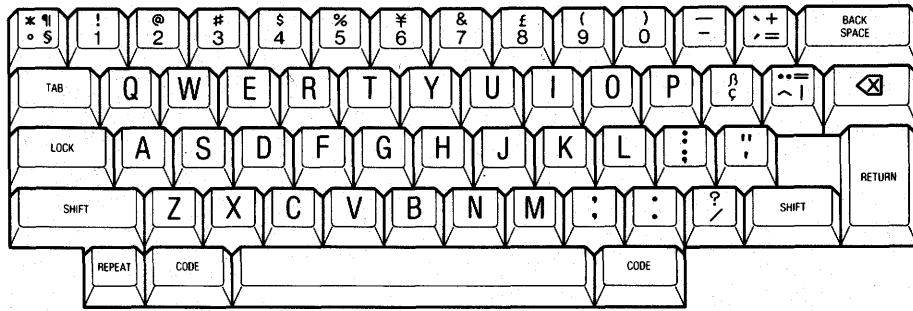


### イタリア (Italy)

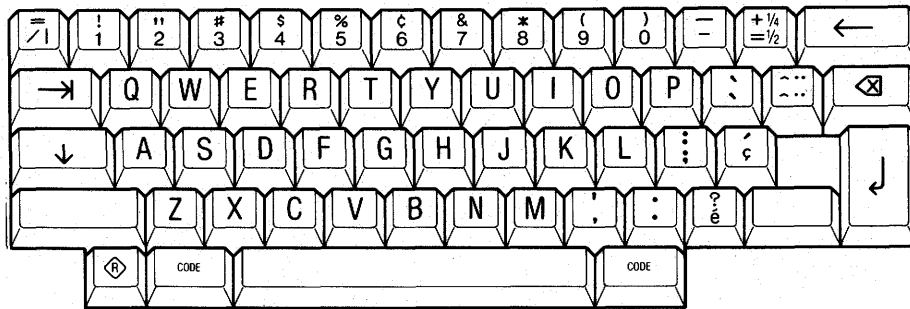




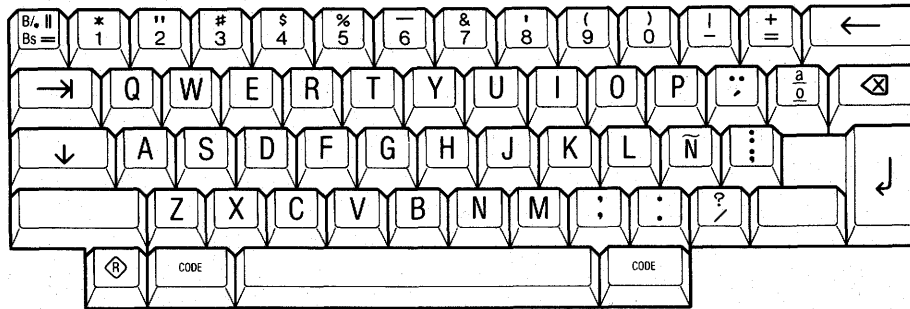
日本 (Japan)



カナダ (Canada)



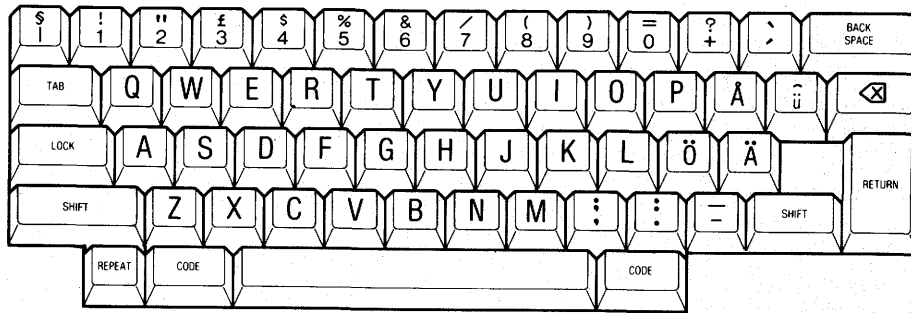
ラテンアメリカ (Latin America)



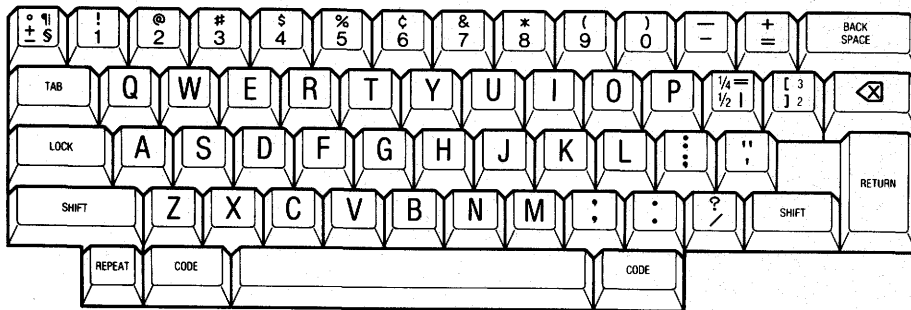
ノルウェー (Norway)



## スウェーデン (Sweden)



## アメリカ (United States)



# 付録

## 消耗品・部品の交換

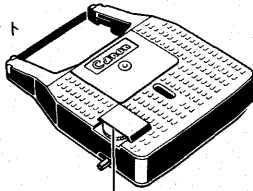
このタイプライタは、電源スイッチがオンの状態で、メモリなどの諸機能を保持しながら、消耗品を交換できます。

- ・電源スイッチがオンの際は、安全のため、キャリアのまわりに髪やアクセサリ（ネクタイ、スカーフ、プレスレットなど）を近づけないでください。

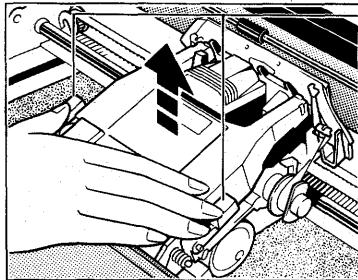
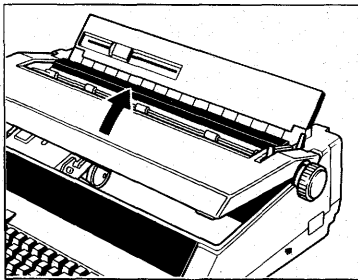
### 1. リボンカセットの交換

リボンカセットには、コレクタブルリボン、シングルストライクリボン、マルチストライクリボン、ファブリックリボンの4種類があります。種類が一目で分かるように、リボンカセットのリボン送りダイヤルに色が付いています。

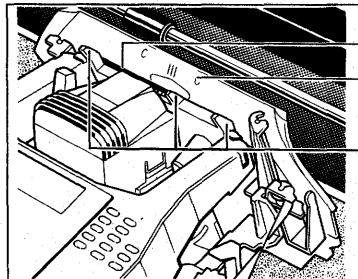
リボンカセット



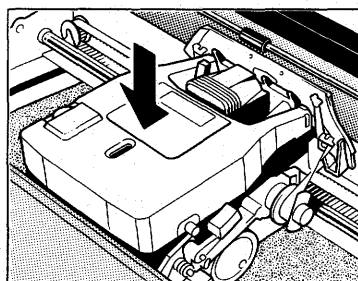
リボン送りダイヤル



カセットリリースレバー



リボン  
カード  
ホルダー  
リボン  
ガイド



リボンカセットの種類	リボン送りダイヤルの色	リボンセレクト
コレクタブルリボン (API1, 17, 18)	オレンジ	☑
コレクタブルリボン (AP-RB11)	黄	
シングルストライクリボン (API6)	ピンク	
ファブリックリボン (API3)	緑	■
マルチストライクリボン (API2)	青	

#### 交換方法

1. タイプライタカバーを開きます。

2. カセットリリースレバーを下に押して、カセットをプラテンから離します。

3. カセットを取り外します。

4. 交換するリボンカセットを取り付けます。

・リボンがリボンガイドとカードホルダーの間に入るように取り付けてください。

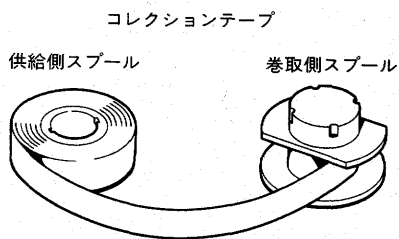
5. カチッと音がするまで、リボンカセットを上から軽く押します。

6. リボン送りダイヤルを時計と逆方向に回し、リボンのたるみを取ります。

7. タイプライタカバーを閉じます。

## 2. コレクションテープの交換

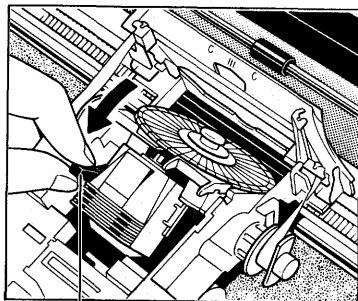
コレクションテープには、リフトオフテープ(コレクタブルリボン用)とカバーアップテープ(マルチストライクリボン用)の2種類があります。お使いになるリボンカセットに合ったコレクションテープをお選びください。



### 交換方法

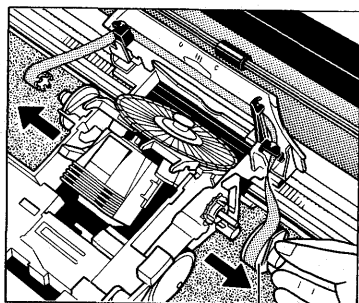
1. タイプライタカバーを開いて、リボンカセットを取り外します(41ページ参照)。

2. ポジショニングレバーを手前に引きます。



ポジショニングレバー

3. 左右両側のスプールを取り外します。

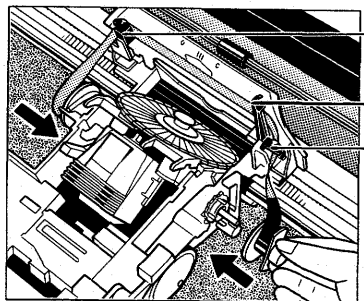


スプール

4. 交換するコレクションテープの供給側スプールを左側に取り付けます。

5. 図に示すように、リボンを引き出してローラーに巻き付けていきます。

6. 巻取側スプールを右側に取り付けます。

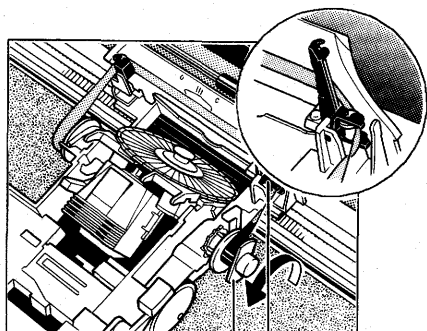


ローラー

7. コレクションテープの色の付いた部分が右側のローラーのところに来るように、巻取側スプールを回しながら、コレクションテープのたるみを取ります。

8. ポジショニングレバーをもとの位置に戻します。

9. リボンカセットを取り付けて、タイプライタカバーを閉じます。

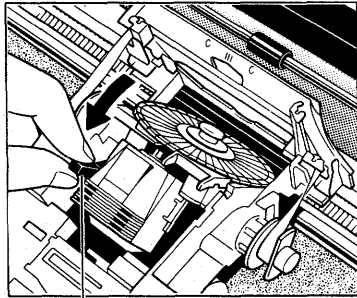
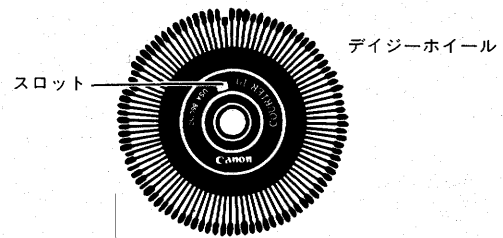


巻取側スプール

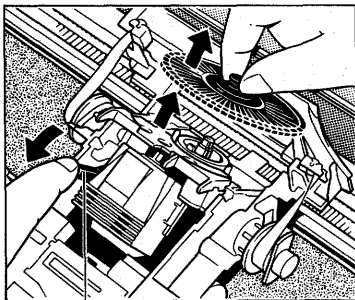
ローラー(右)

### 3. デイジーホイールの交換

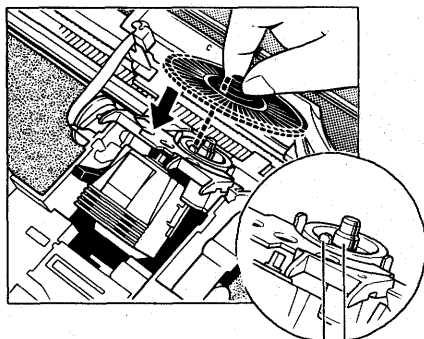
デイジーホイールには5種類の文字ピッチ（10, 12, 15, PS, PS2）と各種書体が揃っています。書体の名前とピッチ数は、各デイジーホイールの中央に書いてあります。使用するデイジーホイールの文字ピッチに合わせて、ピッチセレクト（8ページ参照）を設定してください。



ポジションレバー



ポジションレバー



ピン  
スピンドル

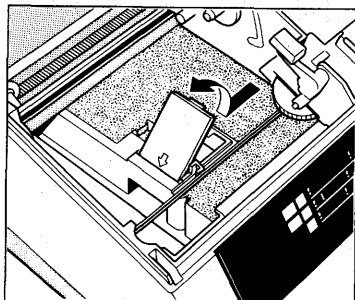
#### 交換方法

1. 電源スイッチをオンにしたまま、タイプライタカバーを開いて、リボンカセットを取り外します(41ページ参照)。
2. ポジショニングレバーを手前に引きます。デイジーホイールユニットが手前に倒れて、デイジーホイールが現れます。
3. ポジショニングレバーをさらに軽く引くと、デイジーホイールがデイジーホイールユニットから浮き上がります。
4. 交換するデイジーホイールのスロットをリボンガイド上のピンに合わせて、ホイールをガイドのスピンドルに差し込みます。
5. ポジショニングレバーをもとの位置に戻します。
6. リボンカセットを取り付けて、タイプライタカバーを閉じます。

## 4. リチウム電池の交換

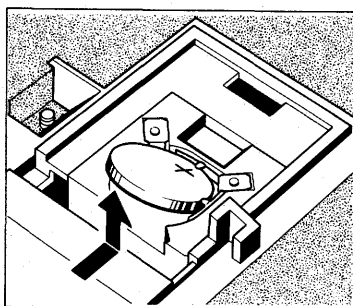
リチウム電池は、メモリの内容を約1年間保持します。電池が寿命に近づくと電源を入れた時にアラームが2回鳴ります。(AP610の場合は、「Battery end!」という警告メッセージがディスプレイに表示されます。)次の手順に従って電池を交換してください。

- ・電池を交換するときは、必ずタイプライタの電源を入れてください。電源を切ったまま電池を取り出すと、メモリの内容が消えてしまいます。

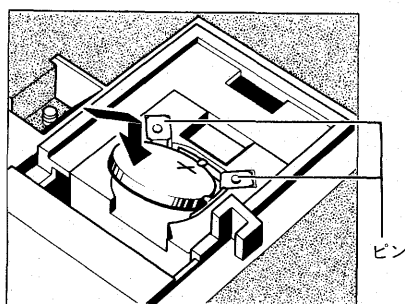


### 交換方法

1. タイプライタカバーを開いて、キャリアを右側に移動します。
2. 電池ケースのフタを押しながら、矢印の方向にずらして取り外します。



3. ペンなどの先のとがった物を用いて矢印の方向に軽く押し、電池を取り出します。



4. 陽極(+)面を上に向け、新しい電池をピンの下にすべりこませるようにして入れます。
5. 電池ケースのフタをしめ、タイプライタカバーを閉じます。

### メモ

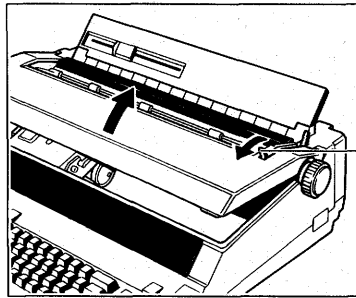
- ・リチウム電池CR2032 (3V, 170mAh) を使用してください。電池の寿命は約1年です。
- ・小さなお子様は電池をのみこまないように注意してください。もし万一のみこんでしまった場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・タイプライタを長時間使用しない場合は、メモリの内容保持のため、電池の寿命が切れないように注意してください。

[注意] リチウム電池は、充電あるいは分解したり、火中に投げたりしないで下さい。

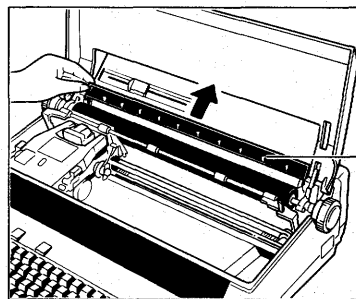
# プラテンの着脱

用紙がプラテンにつまったときや、プラテンの手入れをする場合は、プラテンを取り外してください。プラテンは次に示す手順に従って、簡単に取り外すことができます。

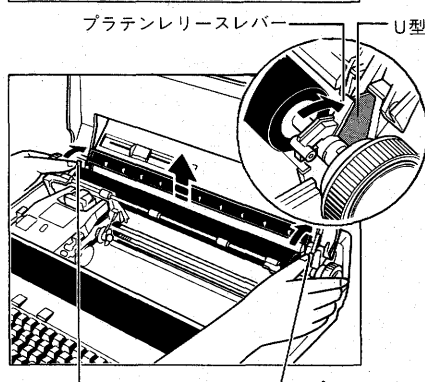
## 取り外し



1. ペーパーベイルレバーを手前に引きます。
2. タイプライタカバーを開きます。



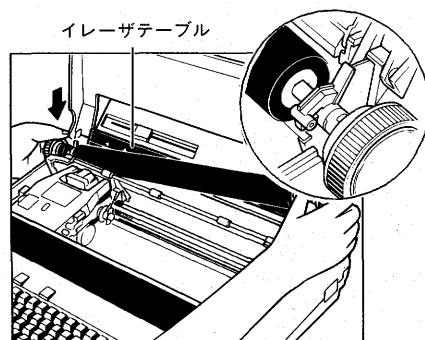
3. イレーザテーブルを持ち上げて、後ろに倒します。



4. プラテンリリースレバーを左図の矢印の方向に押し、プラテンをU型のブラケットから外します。(プラテンリリースレバーが外れにくい場合は、レバーを前方に押しながら、プラテンのレバーに近い部分を軽く下に押してください。必要であれば、もう一方のプラテンリリースレバーにも同じ動作を行ってください。)
5. プラテンをまっすぐ上に持ち上げて取り外します。

つまった用紙を取り除いたり、プラテンの手入れが済んだら、次の手順でプラテンを取り付けます。

## 取り付け



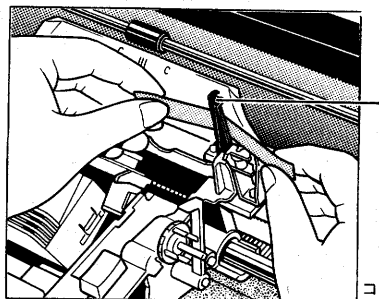
1. イレーザテーブルは後ろに倒したままにしておきます。
2. プラテンノブを持ち、プラテンリリースレバーの中心がU型ブラケットのところにくるようにして、プラテンをもとの位置に戻します。
3. プラテンリリースレバーをもとの位置に戻します。プラテンノブを回して、プラテンが所定の場所にきちんと収まっているか、またプラテンのギアが噛み合っているか確認します。
4. イレーザテーブルをもとの位置に戻します。
5. タイプライタカバーを閉じます。
6. ペーパーベイルレバーをもとの位置に戻します。

# 日常の手入れとサービス

## タイプライタの手入れ

日常の手入れは、外部から見えるゴミを払う程度か、乾いた布で軽く拭きとる程度にしてください。リボンガイドやカードホルダー（41ページ参照）に汚れが付着した場合は、布または紙で拭き取ってください。水や有機溶剤（ケトン、シンナーなど）は絶対に使用しないでください。

## コレクションテープローラの手入れ



コレクション  
テープローラ

1. タイプライタカバーを開いて、リボンカセットを取り外します(41ページ参照)。
2. ポジショニングレバーを手前に引きます。
3. コレクションテープを取り外します(42ページ参照)。
4. 紙や乾いた布などで汚れを軽く拭きとってください。

## その他の手入れ

上記以外は、すべてキャノンの代理店およびキャノンの認定特約店のサービスマンにお任せください。上記サービスマン以外の方が手を加えて生じた故障は責任を負いかねますのでご注意ください。

本機が正常に作動しない場合、サービスマンに連絡する前に以下のことをチェックしてください。

状 況	原 因 と 対 策
タイプライタが作動しない。	・タイプライタカバーがきちんと閉じているか確認してください。
電源スイッチをオンにしてもキャリアが動かない。	・電源コードがコンセントに接続されているか確認してください。 ・他の機器をコンセントに接続して、電気がきているか確認してください。
文字ピッチにむらがある。	・文字ピッチセレクトが正しく設定されているか確認してください。
印字が不鮮明である。	・印字圧セレクトが正しく設定されているか確認してください。 ・リボンが終わっていないか確認してください。
印字されない。	・デジールホイールとリボンカセットが正しく取り付けられているか確認してください。 ・リボンが終わっていないか確認してください。
印字された文字が訂正できない。	・コレクションテープがリボンカセットに合っているか確認してください。 ・コレクションテープが正しく取り付けられているか確認してください。 ・コレクションテープを交換してください。 ・訂正する文字が自動訂正用メモリに記憶されているか確認してください。 ・マニュアル訂正を試みてください。 ・コレクションテープローラが汚れていないか確認してください。

以上の点をチェックしてもタイプライタが正しく作動しない場合は、サービスマンにご連絡ください。



# アラームが鳴って操作できない場合

操作中に操作ミスがあった場合、アラームが鳴って知らせます。アラームが鳴ったときは、キー操作をもう一度確認してください。それでもアラームが鳴って操作できないときは、以下のことをチェックしてください。

状 況	原 因	対 策	ページ
マージン設定時	左右マージン間を1.5インチ（約3.8cm）より狭く設定しようとした。	左右マージン間が1.5インチ（約3.8cm）以上になるよう設定し直してください。	11
タブ、デシマルタブ設定時	20個以上のタブ、デシマルタブを設定しようとした。	不要なタブ、デシマルタブはクリアしてください。	12, 23
最終行のタイピング時	自動ページエンド位置でキーボードがロックされた。	<b>MARGIN RELEASE</b> キーを押してキーボードロックを解除してください。	14
マージン間のセンタリング実行時	すでにその行に文字が印字されていた。	<b>CODE</b> と <b>X</b> を押し、センタリング操作を最初からやり直してください。	19
タブ間のセンタリング実行時	タイプした文字が印字可能なスペースを越えてしまった。	タブ間隔を広げるか、タイピング文字数を減らしてください。	19, 20
	キャリアが右マージン上にある。	<b>RETURN</b> キーで改行してください。	20
センタリング、右寄せ実行時	すでにその行に文字が印字されていた。	<b>CODE</b> と <b>X</b> を押し、センタリング、右寄せの操作を最初からやり直してください。	19, 21
デシマルタブ実行時	キャリアの位置より右にデシマルタブが設定されていない。	キャリアを移動するか、新たにデシマルタブを設定してください。	23
	タイプした数字の桁数が印字可能なスペースを越えてしまった。	デシマルタブの間隔を広げるか、タイプする桁数を減らしてください。	23
	不要なデシマルタブが設定されている。	不要なデシマルタブをクリアしてください。	24
ブロックインデント設定時	仮の左右マージン間を1.5インチ（約3.8cm）より狭く設定しようとした。	仮の左右マージン間が1.5インチ（約3.8cm）以上になるように設定し直してください。	22
その他	操作に関係のないランプが点灯している。	ランプのついているキーを押してください。	
	キーバッファ*が一杯になってしまった。	<b>MARGIN RELEASE</b> キーを押してください。	

\*キーバッファは、タイピングのスピードが印字スピードより速いときに、タイプされた文字を一時的に保持しておくメモリです。

# 製品仕様

---

印字エレメント：	デイジーホイール96文字
印字速度：	最高18文字／秒
文字ピッチ：	10文字／インチ 12文字／インチ 15文字／インチ
	PS 1 PS 2
行ピッチ選択：	1, 1-1/2, 2行
用紙幅：	最大381mm
印字幅：	最大305mm
コピー枚数：	オリジナル1枚とコピー6枚
リボンカセット：	コレクタブル, シングルストライク, マルチストライク, ファブリック
リボンカラー：	コレクタブルリボン：黒, 茶, 青 シングルストライク, マルチストライク, ファブリックリボン：黒
コレクションテープ：	リフトオフ, カバーアップ
キーボード：	46キー
キーバッファ：	100文字
キーピッチ：	19.05mm
キーストローク：	3.5mm
自動訂正：	700文字 (AP600の場合) 1000文字 (AP610の場合)
フォーマットメモリ：	ラインフォーマット 4個
(AP600の場合)	
メモリ保持：	約1年間
電源：	AC100V 45W 50~60Hz
電池：	リチウム電池1個 (メモリ保持用)
使用温度範囲：	10°C ~ 35°C
使用湿度範囲：	20% ~ 85%
寸法：	484 (幅) × 470 (奥行) × 160 (高さ) mm
重量：	11kg
オプションおよびアクセサリ：	スペルチェッカー* AP-DN03 スペルコレクター* AP-DN13 マイクロフロッピーディスクドライブ AP86 (AP610用) シリアルインターフェース AP-IF03 (CCITTV, 24/EIA RS232C準拠) シリアルインターフェース AP-IF13 (スクリーンエディターVP1000接続用) パラレルインターフェース AP-IF43

\* Spelling software developed by Houghton Mifflin Company, publishers of the *American Heritage Dictionary*.

仕様及び規格は予告なしに変更することがあります。

## 商品構成

---

本タイプライタの付属部品は以下の通りです。

- ・電源コード
- ・デイジーホイール
- ・コレクションテープ1個
- ・リボンカセット1個
- ・ダストカバー
- ・リチウム電池 (1個)
- ・使用説明書
- ・電子タイプライタ無償修理保証登録書
- ・保守契約書

# 索引

## あ

アラームが鳴って操作できない場合	47
アンダーライン	8

## い

印字した文字の訂正	16
自動訂正	16
マニュアル訂正	17
インデント	22
ブロックインデント	22

## え

エクスペンスバックスペース	33
---------------	----

## か

改行	9
自動改行	9
マニュアル改行	9
重ね印字	33

## き

キーの名称と機能	6
キーボード	4
キーボードのマルチリング変換	36
キーボードのロック	14
キャスロック	31
キャリア	4
キャリアの微量送り	34
タイピング位置	11
タイピング中のキャリア移動	35
行末揃え	9

## く

クイックリファレンス	51
------------	----

## こ

コラムレイアウト	25
コレクションテープの交換	42
コレクションテープローラの手入れ	46

## さ

作表	23
サブスクリプト	32
三桁位取り	23

## し

自動機能	16
基本機能	19
作表	23
自動給紙	10
自動訂正用メモリ	16
自動ページエンド警告	14
商品構成	48
消耗品の交換	41

## す

スーパースクリプト	32
-----------	----

## せ

製品仕様	48
セクタ	8
AUTO/JUSTセクタ	9
印字圧セクタ	8
印字モードセクタ	8
キーボードセクタ	8
行ピッチセクタ	9
文字ピッチセクタ	8
リボンセクタ	9
センターマーク	5
センタリング	19
指定点を中心としたセンタリング	21
タブ間のセンタリング	19
単語間のセンタリング	20
マージン間のセンタリング	19

## た

タイピング開始行	10
タイピング最終行	14
タイプライタカバー	5
縦線	27
タブ	12
タブの設定とクリア	23
デシマルタブ	23

て	
デジターホイールの交換	43
デシマルタブ	23
電源スイッチ	5
電池ケース	44

と	
トップマージン	10
取扱上の注意	3

に	
日常の手入れとサービス	46

は	
ハーフバックスペース	33
パーマネントスペース	31
バリアブルラインスペーサ	4

ひ	
ピッチスケール	4
表記について	3

ふ	
プラテン	4
プラテンの着脱	45
プラテンノブ	5
プロポーショナルスペーシング	8

へ	
ページエンド表示板	5
ペーパーエッジガイド	4
ペーパーサポート	5
ペーパーベイル	5

ほ	
ボールド文字	8
ホットゾーン	13

ま	
マージン	11

み	
右寄せ	21

も	
文字ピッチ	8

ら	
ラインフォーマット	15

り	
リチウム電池の交換	44
リボン送りダイヤル	41
リボンガイド	41
リボンカセット	41
リボンカセットの交換	41
リボンカセットの上下時間の調整	35

れ	
レバー	
カセットリリースレバー	41
ペーパーベイルレバー	5
ペーパーリリースレバー	5
ポジショニングレバー	42, 43

ゆ	
U型ブラケット	45

よ	
用紙の送り量	9
用紙の半行送り・半行戻し	34
半行送り	34
半行戻し	34

わ	
枠取り	28
ワードデリケート	18

# クイックリファレンス

各機能のキー操作や手順を簡単にまとめました。

キー操作や手順などがわからないときは、このページを参照してください。

・必要に応じて大括弧内の手順を繰り返してください。

<p>■インデント (22ページ)</p> <p>キャリアの移動—— <b>INDENT</b> ——タイプ—— <b>INDENT</b></p>
<p>■エクस्प्रेसバックスペース (33ページ)</p> <p><b>CODE</b> と <b>RETURN</b></p>
<p>■重ね印字 (33ページ)</p> <p>タイプ—— <b>CODE</b> と <b>I</b> ——タイプ</p>
<p>■キーボードのマルチリンガル変換 (36ページ)</p> <p>設定</p> <p><b>CODE</b> と <b>N</b> ——タイプ—— ☆</p> <p>解除</p> <p><b>CODE</b> と <b>N</b> ——⊗</p>
<p>■キャプスロック (31ページ)</p> <p>設定/解除</p> <p><b>CODE</b> と <b>C</b></p>
<p>■キャリアの微量送り (34ページ)</p> <p><b>CODE</b> とスペースバー</p>
<p>■コラムレイアウト (25ページ)</p> <p>設定</p> <p>(三桁位取り)——キャリアの移動—— <b>LAYOUT</b> —— <b>CENTER</b> ——[タイプ(一番長い語句)——  <b>TAB SET</b> ——タイプ(一番長い整数部)—— <b>CODE</b> と <b>TAB SET</b> ——タイプ(一番長い小数部)——  <b>TAB SET</b> ] —— <b>LAYOUT</b></p> <p>実行</p> <p>(<b>TAB</b> —— <b>INDENT</b>) —— [タイプ—— <b>DEC TAB</b> ——タイプ] —— <b>RETURN</b></p> <p>・コラムレイアウト設定時に <b>CENTER</b> キーを押した場合は、丸括弧内の手順を省略してください。</p> <p>オリジナルフォーマットへの復帰</p> <p><b>CODE</b> と <b>Z</b></p>
<p>■サブスクリプト (32ページ)</p> <p><b>CODE</b> と <b>O</b> ——タイプ</p>
<p>■自動給紙 (10ページ)</p> <p><b>PAPER FEED</b></p>
<p>■自動排紙 (35ページ)</p> <p><b>CODE</b> と <b>PAPER FEED</b></p>
<p>■自動ページエンド警告 (14ページ)</p> <p>設定</p> <p><b>CODE</b> と <b>F</b> —— <b>RETURN</b> または <b>INDEX</b> —— ☆</p> <p style="margin-left: 40px;">0 4 ~ 9 9</p> <p>取消</p> <p><b>CODE</b> と <b>F</b> ——スペースバー</p>

■スーパースクリプト (32ページ)

CODE と P — タイプ

■センタリング

指定点を中心としたセンタリング (21ページ)

キャリアの移動 — CENTER — タイプ — TAB または RETURN

タブ間のセンタリング (19ページ)

キャリアの移動 — CENTER — TAB — [タイプ — TAB] — RETURN

単語間のセンタリング (20ページ)

キャリアの移動 — CENTER — タイプ — TAB または RETURN

マージン間のセンタリング (19ページ)

CENTER — タイプ — TAB または RETURN

■タイピング開始行 (10ページ)

CODE と S — INDEX または REV INDEX — ☆  
0 1 ~ 5 5

■タイピング中のキャリア移動 (35ページ)

設定/解除

CODE と Q

■縦線 (27ページ)

キャリアの移動 — CODE と j — REPEAT

■タブ (12ページ)

設定

キャリアの移動 — TAB SET

実行

TAB

特定のタブのクリア

TAB — TAB CLR

すべてのタブのクリア

CODE と TAB CLR

■訂正

自動訂正 (16ページ)

キャリアの移動 — ☒ — タイプ — RELOC

マニュアル訂正 (17ページ)

BACKSPACE または REV INDEX — Ⓢ — CODE と X — REV INDEX または BACKSPACE または  
スペースバー — ☒ — タイプ (間違った文字) — タイプ (正しい文字) — RELOC

■デシマルタブ (23ページ)

三桁位取り

CODE, SHIFT と P — 1 ~ 3

設定

[キャリアの移動 — CODE と TAB SET]

位置確認

CODE と DEC TAB

実行

**DEC TAB** —タイプ— [ **DEC TAB** —タイプ] — **RETURN**

特定のデシマルタブのクリア

**CODE** と **DEC TAB** — **TAB CLR**

すべてのデシマルタブのクリア

**CODE** と **TAB CLR**

■ハーフバックスペース (33ページ)

**CODE** と **BACKSPACE**

■パーマネントスペース (31ページ)

**CODE** と **B**

■ブロックインデント (22ページ)

キャリアの移動 — **CODE** と **INDENT** —タイプ— **INDENT**

■ホットゾーン (13ページ)

**CODE** と **H** — **0** ~ **9** — ☆

■マージン (11ページ)

キャリアの移動 — **LEFT MARGIN** または **RIGHT MARGIN**

■右寄せ (21ページ)

**CENTER** — **RIGHT MARGIN** —タイプ— **RETURN**

■用紙の半行送り・半行戻し (34ページ)

半行送り

**CODE** と **INDEX**

半行戻し

**CODE** と **REV INDEX**

■ラインフォーマット (15ページ)

設定

**FORMAT** — **1** ~ **4** — ラインフォーマットの設定

呼び出し

**FORMAT** — **1** ~ **4** — **PAPER FEED** — **CODE** と **F**, その後 ☆

■リボンカセットの上下時間の調整 (35ページ)

**CODE**, **SHIFT** と **T** — **1** ~ **5**

■枠取り

自動枠取り (28ページ)

**FRAME** — キャリアの移動 — **TAB SET** — [キャリアの移動 — **TAB SET**] — **CODE** と **RETURN** —  
[ **RETURN** または **INDEX** — **TAB SET** ] — ☆

マニュアル枠取り (29ページ)

枠取りフォーマットの設定 — キーボードセレクトをIIに設定 — **FRAME** — キャリアの移動 — **LOCK** —  
□ — **REPEAT** — **TAB** — **SHIFT** — **I** — **REPEAT** — ☆ — [ **TAB** — **I** —  
**REPEAT** ] — **TAB** — **LOCK** — [ **RETURN** または **INDEX** — □ — **REPEAT** ] — **FRAME**

■ワードデリート (18ページ)

キャリアの移動 — **CODE** と ☒

